

W I L C O M M

導入手順書

Ver.7.15 SP2 for iSeries & PC

INS007 (Last Update : 2005/08/16)

WilComm 400 V7.15 SP2

© Copyright 2000, 2003.
K.I.S.S. Inc.



WilComm 導入手順書 Ver.7.15 SP2 for iSeries & PC

本解説書は、ウィルコム Ver.7.15 SP2 の iSeries 及び PC へのソフトウェア導入手順について解説しています。
2003 年 12 月現在、ウィルコム他バージョン Ver.7.15 以下及び、Ver.8.01 のインストールには適用されません。

ソフトウェア要件

iSeries OS/400 Ver.3.7 以上

PC WindowsNT(SP5 以上)
Windows2000
WindowsXP
Windows2003
Microsoft Internet Explorer 5.0 以上(ウィルコムのファックス機能を使用する場合)

(注意)

ウィルコムのファックス機能を使用する場合、お手元にあるファックス制御ソフトの
CD ラベル「MESSAGEmanager」のバージョンをご確認ください。

WindowsNT の場合、「MESSAGEmanager Ver.6.2」

Windows2000/XP/2003 の場合、「MESSAGEmanager Ver.6.3」或いは
「MESSAGEmanager Ver.7.0」

目次

	ページ
1 . iSeries への WilComm インストール	4
2 . PC サーバーへの WilComm インストール準備	8
- ネットワークドライブの割り当て	8
- WilComm システム要件の確認	8
- ライセンスキーの取得	9
3 . WilComm のインストール	13
4 . WilComm の初期設定	25
5 . WilComm の PTF 適用	28
6 . WilComm ライセンスキーの入力	32
7 . MESSAGEmanager のインストール	34
8 . Adobe Acrobat のインストール	35
9 . DocuWorks のインストール	37
10. WilComm Server のセットアップ	38
11. WilMail のセットアップ	39
12. WilPrint のセットアップ	49
13. WilFile のセットアップ	55
14. Windows のチューニング	63

1. iSeries への WilComm インストール

WilComm 400 のラベルが付いた CD を iSeries の CD-ROM ドライブにセットして下さい。

iSeries にユーザー QSECOFR でサインオンします。

以下のシステム値について、設定を確認します。

(システム値の変更は、他システムへの影響がないことをシステム管理者に確認してください。)

QALWOBJRST : 設定されている値を控えて、*ALL に設定します。 インストールが終わったら元に戻して下さい。

QVFYOBJRST : 設定されている値を控えて、1 に設定します。 インストールが終わったら元に戻して下さい。

(このシステム値は、OS のバージョンによっては、存在しない場合があります。)

コマンドラインから LODRUN *OPT を実行します。

インストールが終わりましたら、コマンドラインから GO W を実行して WilComm のメニューを表示させます。

MN000101	WILCOMM スプールファイル配布管理システム	システム : S103GWMM
次の中から 1 つを選んでください。		
1. 新規メッセージの作成		
2. メッセージ・リストの表示		
3. ディレクトリー照会		
4. ディレクトリー・メンテナンス		
5. WILPLEX ユーザーへの AS/400 メッセージ送信		
6. 世界時計		
7. クイック・メッセージ表示		
8. クイック送信		
11. ウィルスプール・ユーティリティ		
40. ウィルコム OUTQ インターセプター・メニュー		
50. スプールファイル・インターフェース・メニュー		
		続く ...
選択項目またはコマンド		
====> _____		
F3= 終了 F4=プリント F9=コマンドの複写 F12= 取消し F13=ユーザーサポート		
F16=AS/400 メインメニュー		
(C) 著作権 WILKINSON COMPUTER SERVICES		VSN : 7.15

メニューが表示されたら次ページキーを押します。

MN000101

WILCOMM スプールファイル配布管理システム

システム : S103GWMM

次の中から 1 つを選んでください。

60. アプリケーション・コントロール・メニュー

70. WILCOMM セキュリティ・メニュー

80. デモンストレーション・メニュー

90. サイン・オフ

終了

選択項目またはコマンド

==> 70

F3= 終了 F4=プロンプト F9=コマンドの複写 F12= 取消し F13=1-ザ・マスタート

F16=AS/400 メイン・メニュー

オプションの 70. WILCOMM セキュリティ・メニューを実行します。

MN000105

WILCOMM セキュリティ・メニュー

システム : S103GWMM

次の中から 1 つを選んでください。

1. ライセンスキー取得情報
2. ライセンスキーの登録
3. ライセンス有効期限表示

30. WILCOMM スプールファイル配布管理システム
40. ウィルコム OUTQ インターセプター・メニュー
50. スプールファイル・インターフェース・メニュー
60. アプリケーション・コントロール・メニュー
80. デモンストレーション・メニュー

続く ...

選択項目またはコマンド

==> 2

F3= 終了 F4=プロンプト F9=コマンドの複写 F12= 取消し F13=1-ザ・マスタート

F16=AS/400 メインメニュー

(C) 著作権 WILKINSON COMPUTER SERVICES

VSN : 7.15

オプション2. ライセンスキーの登録を実行して下さい。

ライセンスキーをお持ちでない場合は、1. ライセンスキー取得情報を実行して画面に表示された「iSeries シリアル番号」、「iSeries モデル番号」、「iSeries フューチャーコード」を販売店に連絡してライセンスキーを取得して下さい。

ライセンスキーの発行には、最短で2営業日ほどかかります。

E トホネ モマネ A マホナネハホナト C ナオ ホ ウトホトマ :

A マホナネハホナト C ナオ :

上記のような画面が表示されます。

文字化けしているように見えますが、これは英小文字で表示されている為です。

端末の設定を英小文字が表示できるモードに切り替えますと、下記のような画面になります。
モードの切り替えは、クライアントアクセスの場合 Ctrl+F3、ダム端末は Ctrl+F12 を押します。

Enter your Authorisation Code to continue :

Authorisation Code :

入力欄にライセンスキーを入力して実行キーを押します。

アルファベットの I や O は、数字の 1 や 0 と間違いやすいので気を付けて下さい。

もし下記のようなエラーが表示された場合、販売店にお問い合わせ下さい。

Enter your Authorisation Code to continue :

Authorisation Code : ABC123XXYY ZZ0122WTRX

**Security code rejected - contact Wilkinson
Computers or your licensed reseller immediately**

以上で iSeries へのインストールは終わりです。

2. PC サーバーへの WilComm インストール準備

[注意！] WilComm のインストールは、必ずクライアントアクセスを先にインストールしてから行なって下さい。
OS/400 V4R4M0 以降の場合、ネットサーバー機能を使用するため、クライアントアクセス・エクスプレス版を標準ではなくカスタムインストールで導入して下さい。
導入モジュールを選択する画面で、オペレーションナビゲーターについては、全ての機能をインストールするようにして下さい。

ネットワークドライブの割り当て

クライアントアクセスをインストールし終わったら、iSeries への接続を行います。
この時使用する接続ユーザーは QSECOFR を使用して下さい。
iSeries の PC フォルダにある SI というフォルダをネットワークドライブに割り当てます。
この時、ドライブ名は I に割り当てて下さい。

＜クライアントアクセス V3R1M0,V3R2M0 の場合＞
ネットワークコンピュータを右クリックして、ネットワークドライブの割り当てを開きます。
ドライブに I、パスに **¥iSeries の名前¥QDLS¥SI** を指定して接続します。

＜クライアントアクセス・エクスプレス版の場合＞
オペレーションナビゲータを開き QSECOFR で iSeries へ接続します。
ファイル共有を右クリックしてネットサーバーを実行します。
共有オブジェクトを右クリックして[新規]-[ファイル]を実行します。
共有名に“SI”(大文字で入力)、アクセス方法を“読み取り／書き込み”、パスを“/QDLS/SI”(大文字で入力)
ファイル共有をクリックし、その中の SI をクリックして開きます。
エラーになってしまう場合は、iSeries で NetServer が起動していない可能性があるため、iSeries で STRTCPSVR *NETSVR を実行します。
開くことができたなら、SI を右クリックし、ネットワークドライブへのマップを実行して **I ドライブ** にマップします。

ネットワークドライブの割り当てにつきましては、クライアントアクセスの機能になりますので、
詳細はクライアントアクセスの解説書を参照して下さい。

WilComm システム要件の確認

WilComm は Windows NT 4.0 サービスパック5以上が前提となります。
もしサービスパックレベルが低い場合、WilComm のインストールを行う前にサービスパックの適用を行って下さい。

FAX 機能を使用する場合、インターネットエクスプローラー5.0 以上が前提となります。
もしインターネットエクスプローラーのバージョンが低い場合、WilComm のインストールを行う前にインターネットエクスプローラーのバージョンアップを行って下さい。

WilComm を使用するには、WilComm の **ライセンスキー** が必要です。
ライセンスキーを取得されていない場合は、次ページ以降の手順で取得して下さい。

FAX 機能を使用するには、FAX サーバー(MESSAGEmanager)の **ライセンスキー** が必要です。
ライセンスキーを取得されていない場合は、販売店へお問い合わせ下さい。

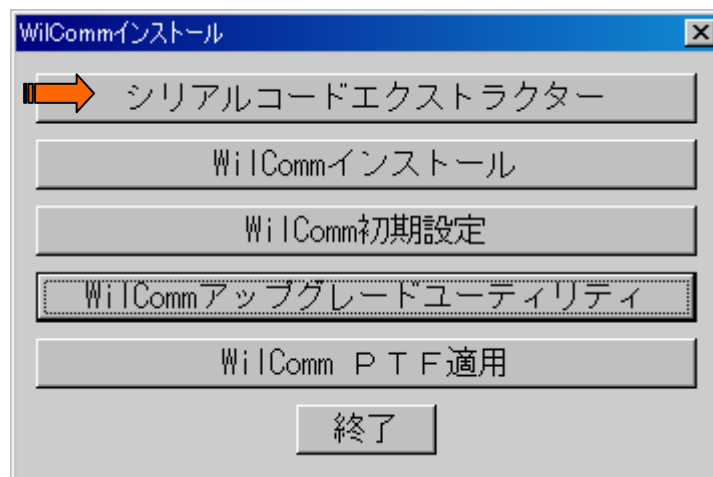
準備が整っているようでしたら、WilComm のインストールを開始します。

ライセンスキーの取得

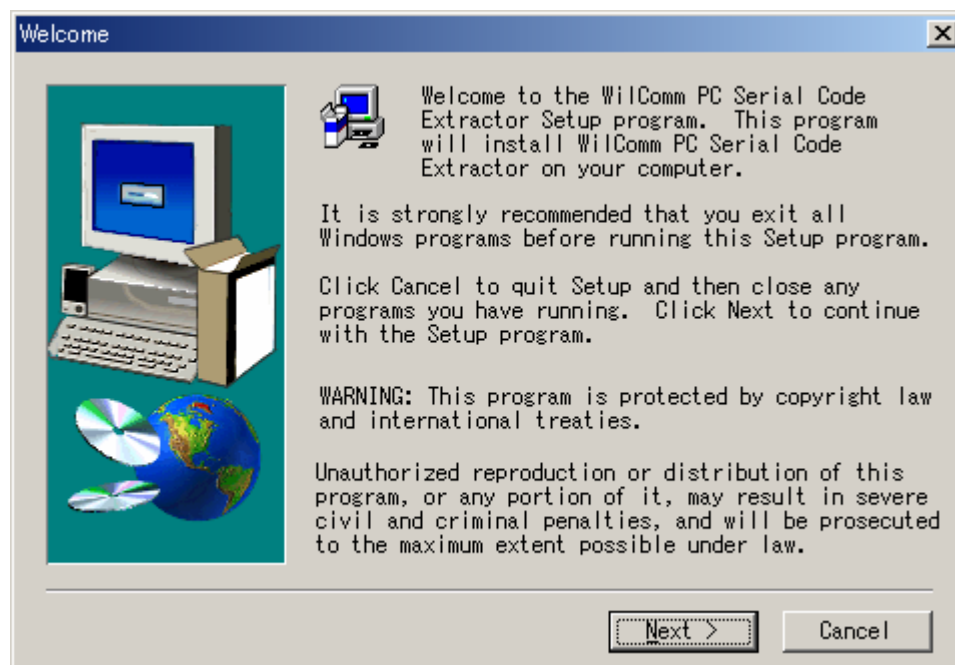
「WILCOMM 400 Ver.7.15 SP2」のラベルが付いたCDを PC サーバーの CD-ROMドライブへセットします。

自動的に下記のようなメニューが表示されます。

自動的に表示されない場合は、CD のルートにある WILMENU.EXE を実行して下さい。



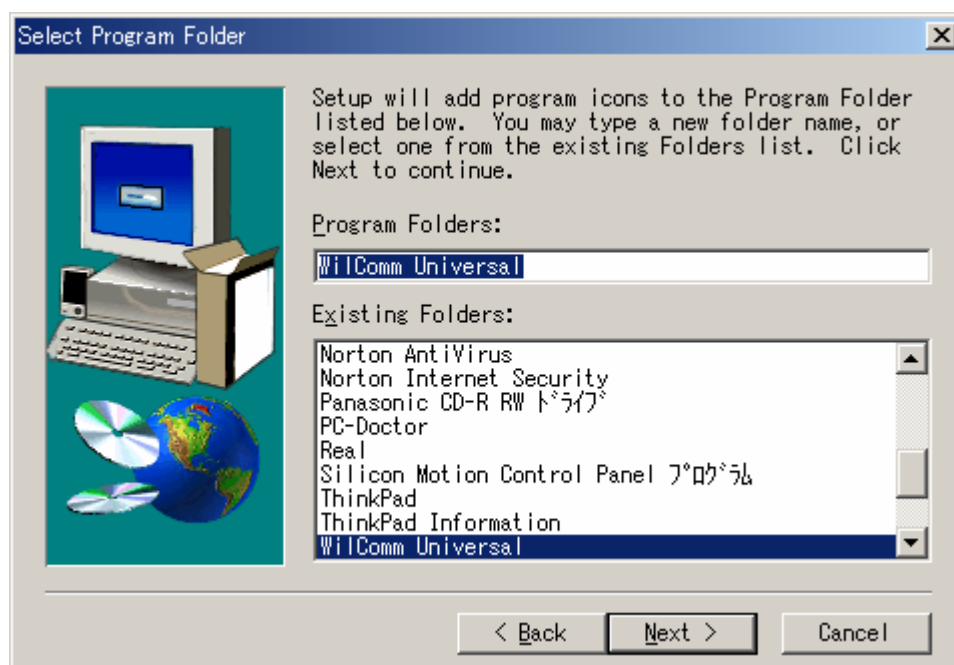
[シリアルコード・エクストラクターのインストール]を実行します。



[Next >] ボタンを押します。



[Next >] ボタンを押します。
インストール先を変更する場合は、[Browse...]ボタンを押して変更して下さい。



[Next >] ボタンを押します。



[Finish] ボタンを押します。



[終了] ボタンを押します。

[スタート]-[プログラム]-[WilComm Universal]-[WilComm Serial Code Extractor]を実行します。



画面に表示されたシリアルコードを販売店に連絡してライセンスキーを取得して下さい。
ライセンスキーの発行には、最短で2営業日ほどかかります。

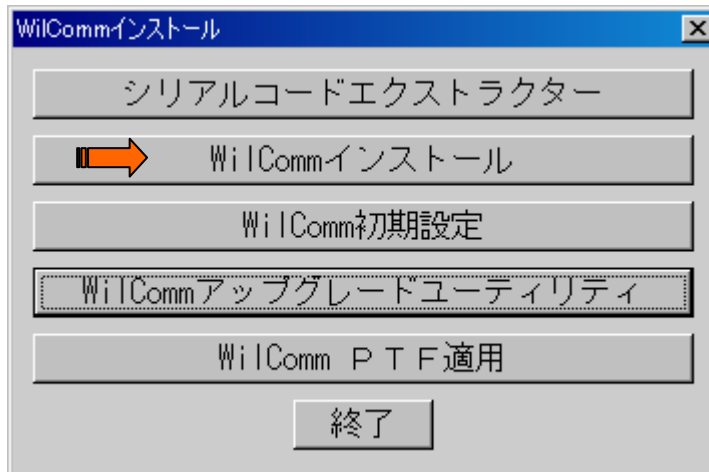
[ファイルに保存(S)]を押すと、シリアルコードの内容をテキストファイルに保存することができます。

3. WilComm のインストール

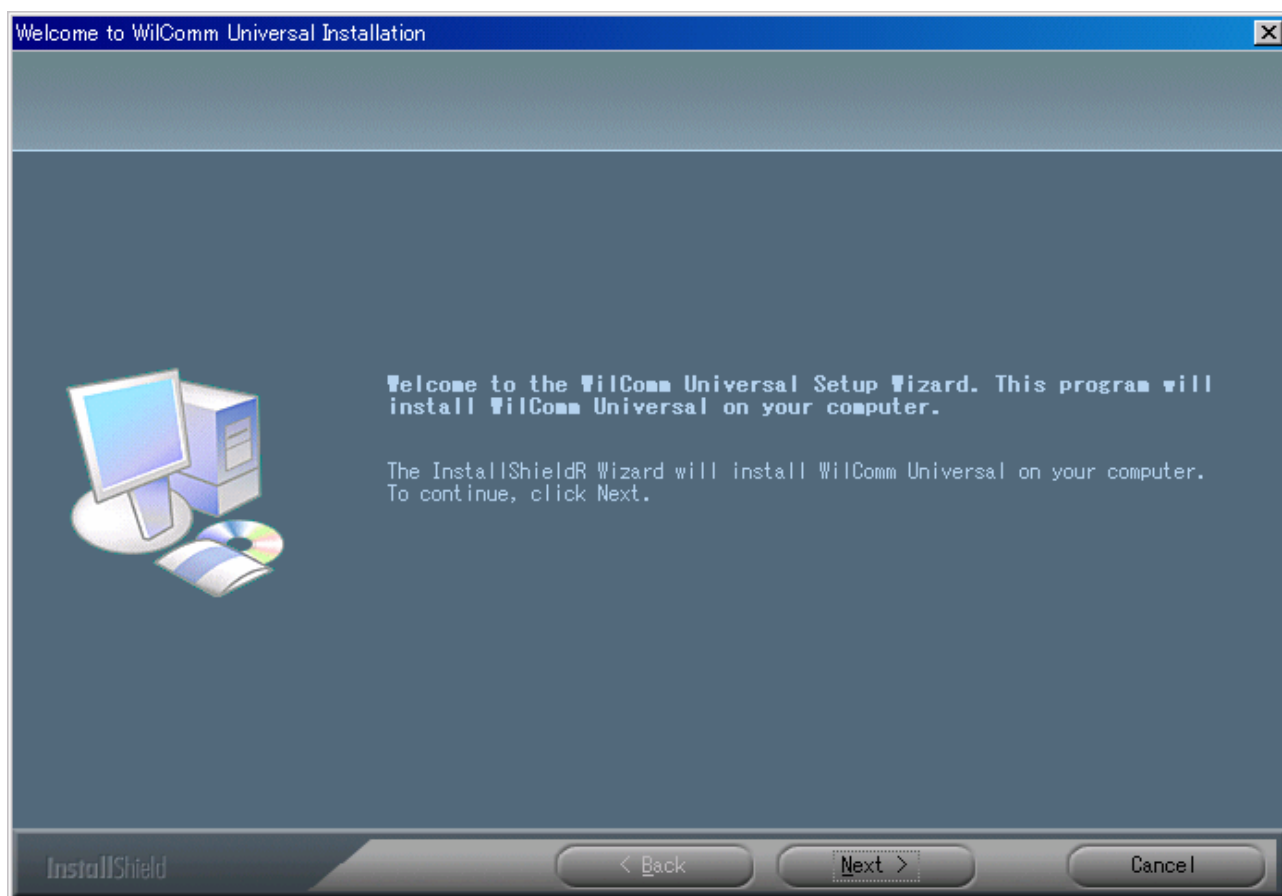
「WilComm 400 Ver.7.15 SP2」のラベルが付いた CD を PC サーバーの CD-ROM ドライブにセットして下さい。

自動的に下記のようなメニューが表示されます。

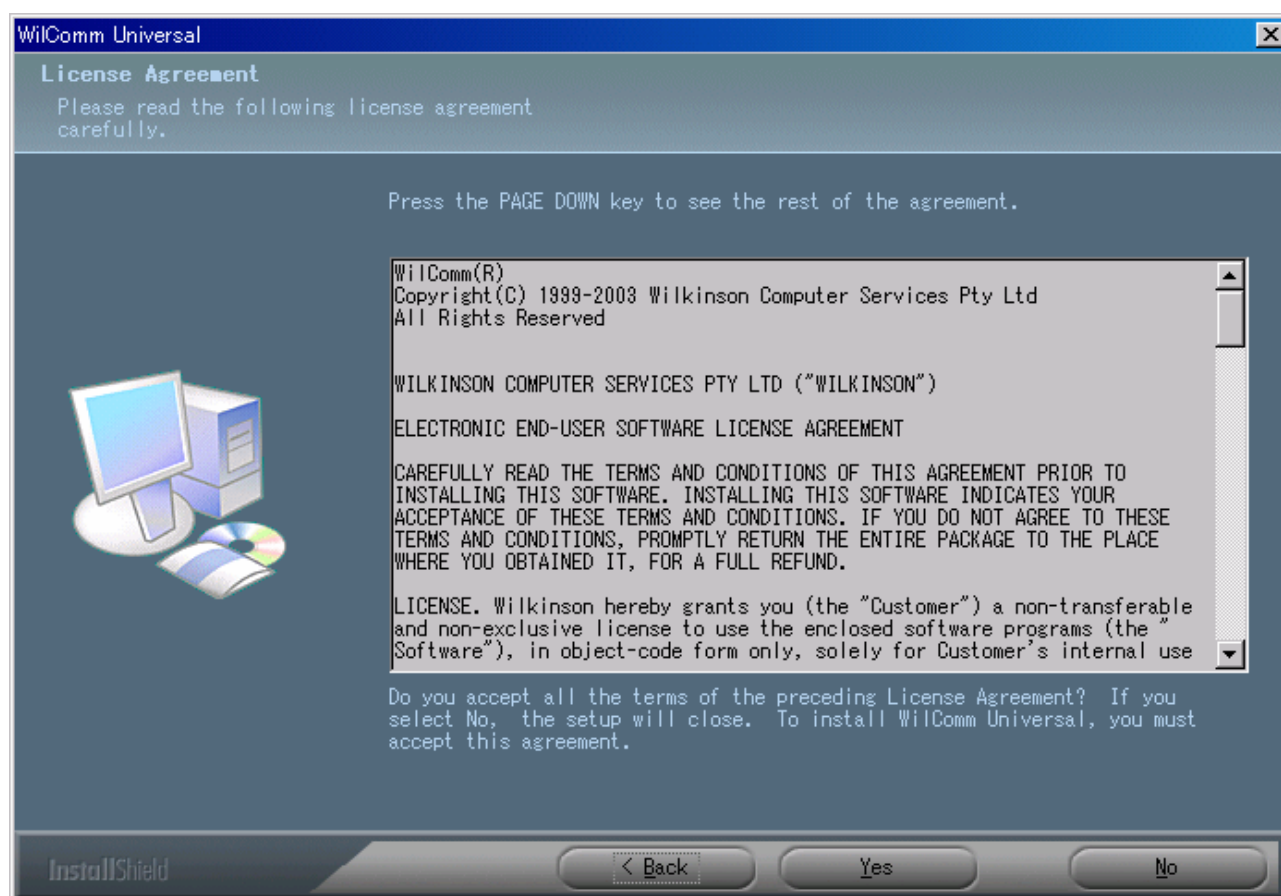
自動的に表示されない場合は、CD のルートにある WILMENU.EXE を実行して下さい。



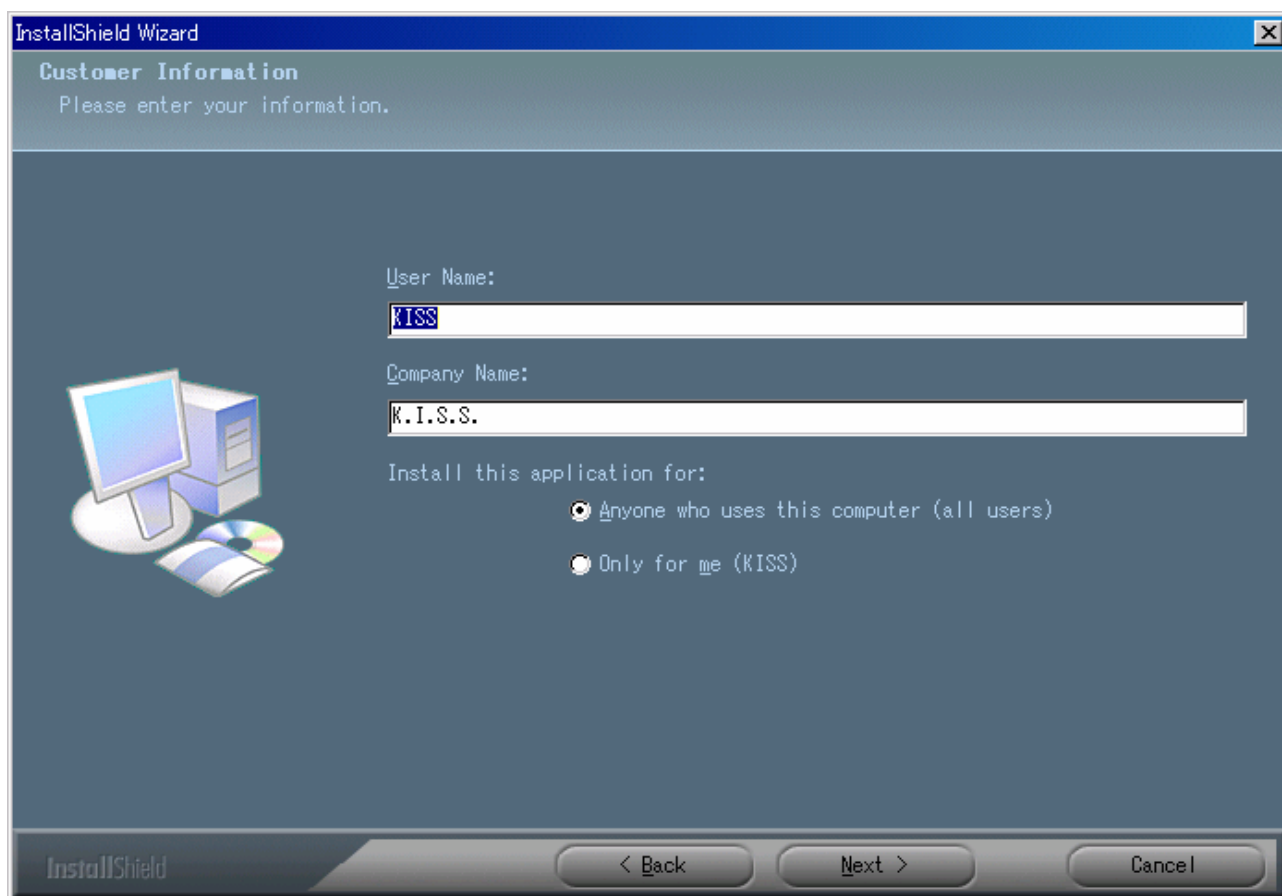
[WilCommのインストール]を実行します。



[Next >]ボタンを押します。



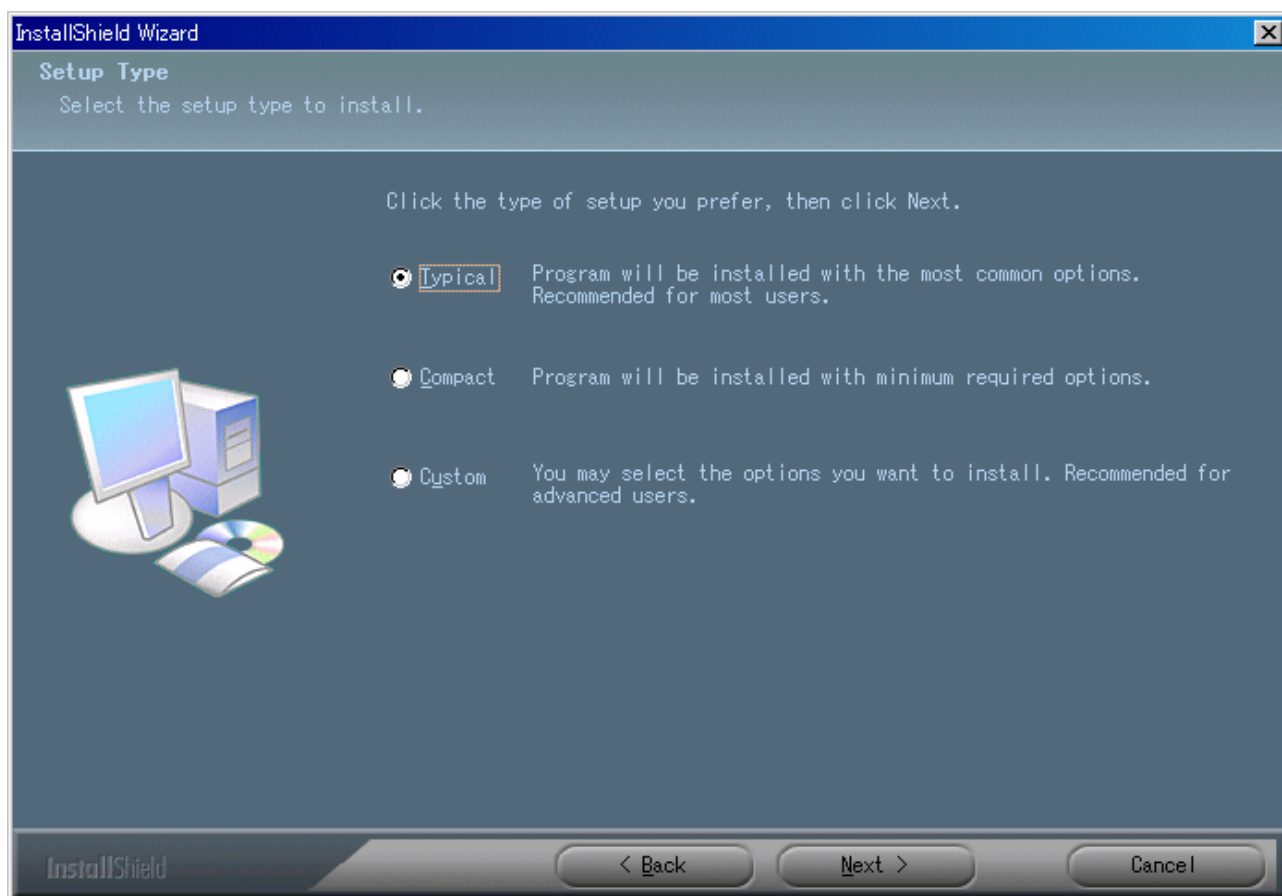
[Yes]ボタンを押します。



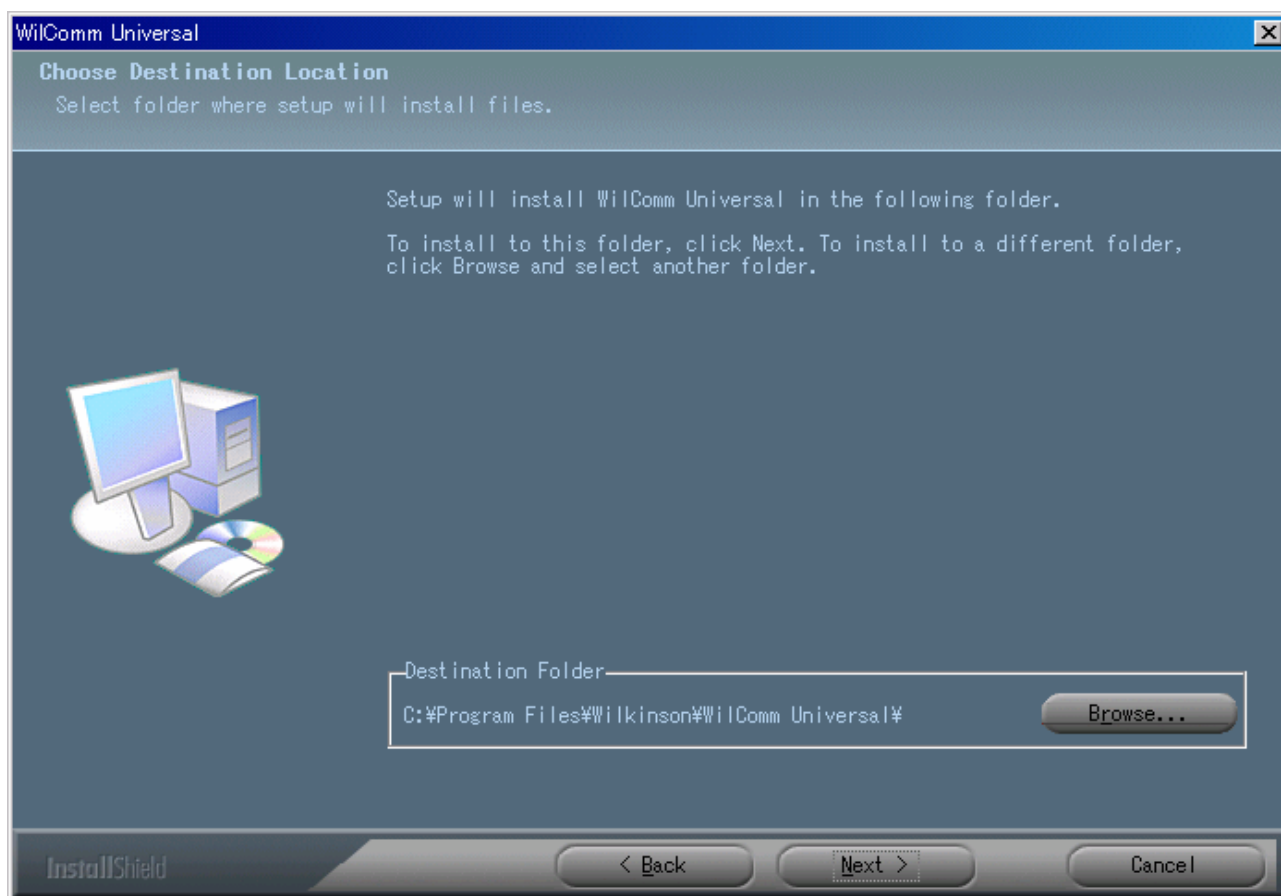
[User Name]と[Company Name]の項目を入力します。

[Install this application for]は、[Anyone who uses this computer (all users)]に印を付けます。

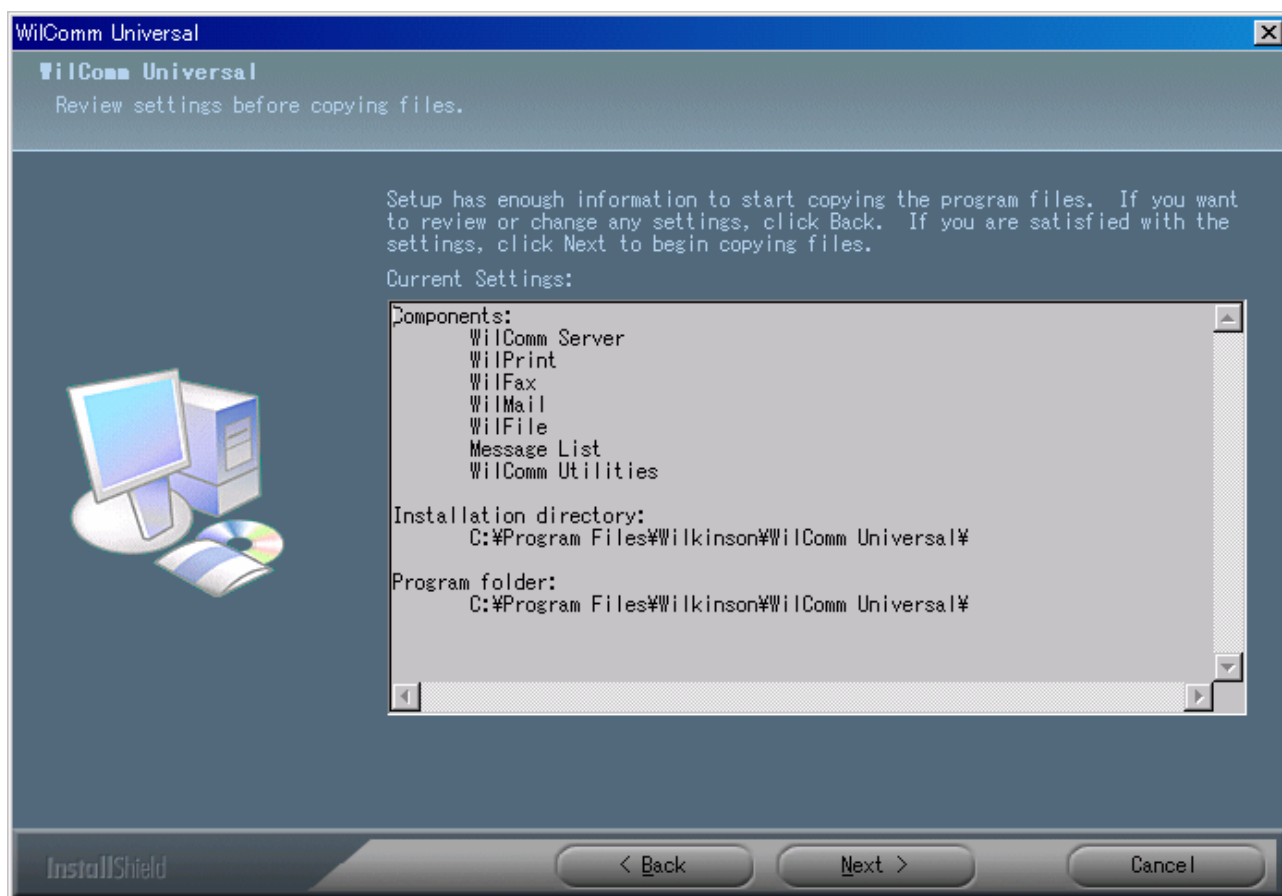
[Next >]ボタンを押します。



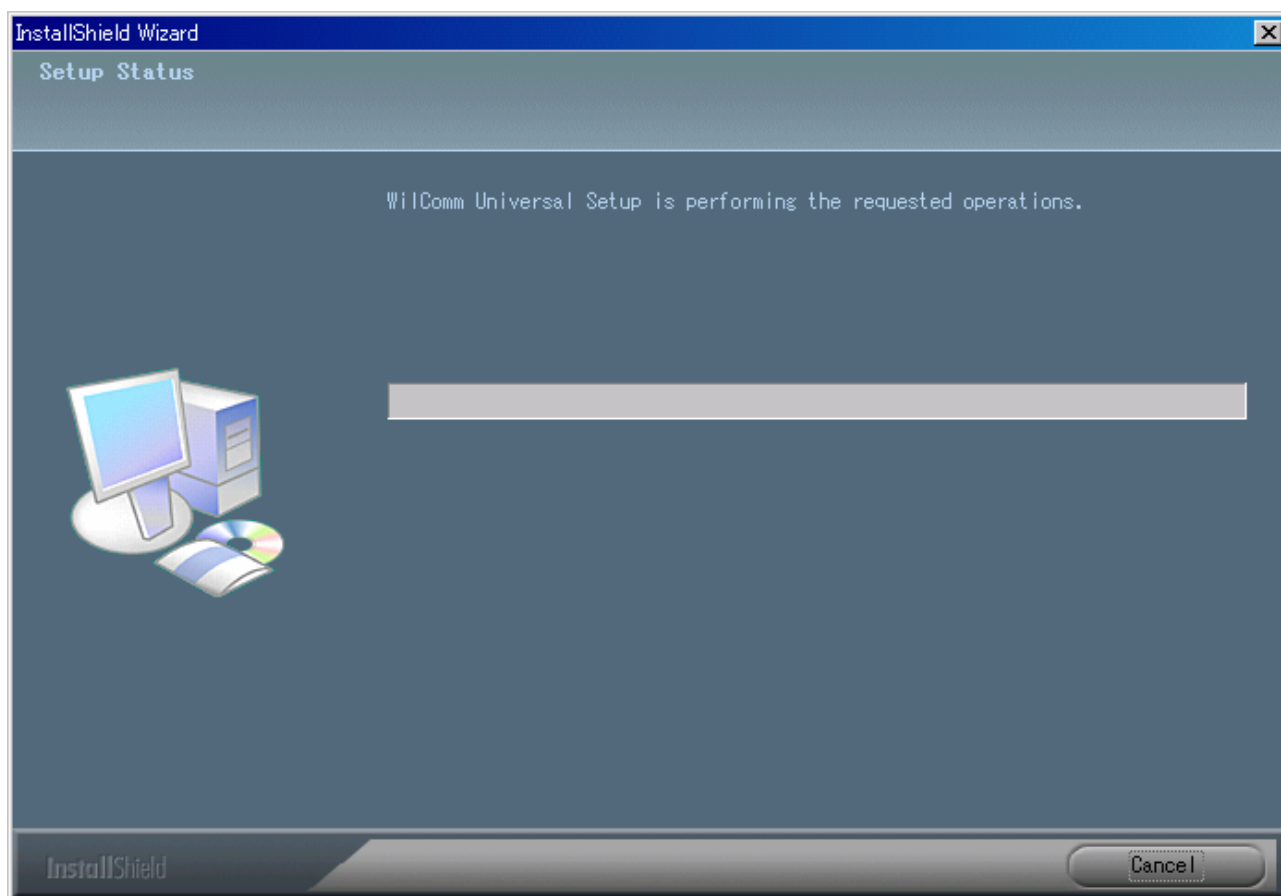
[Typical] に印を付けて[Next >]ボタンを押します。



インストール先を変更するのであれば、[Browse...]ボタンを押して、場所を指定して下さい。
[Next >]ボタンを押します。



[Next >]ボタンを押します。

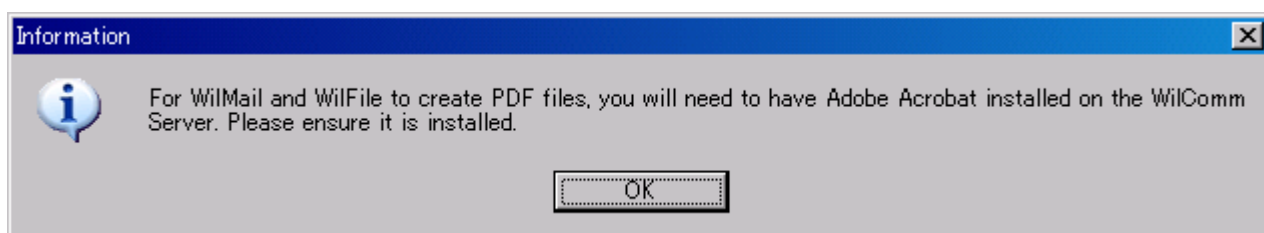


インストールが開始されます。しばらくお待ち下さい。

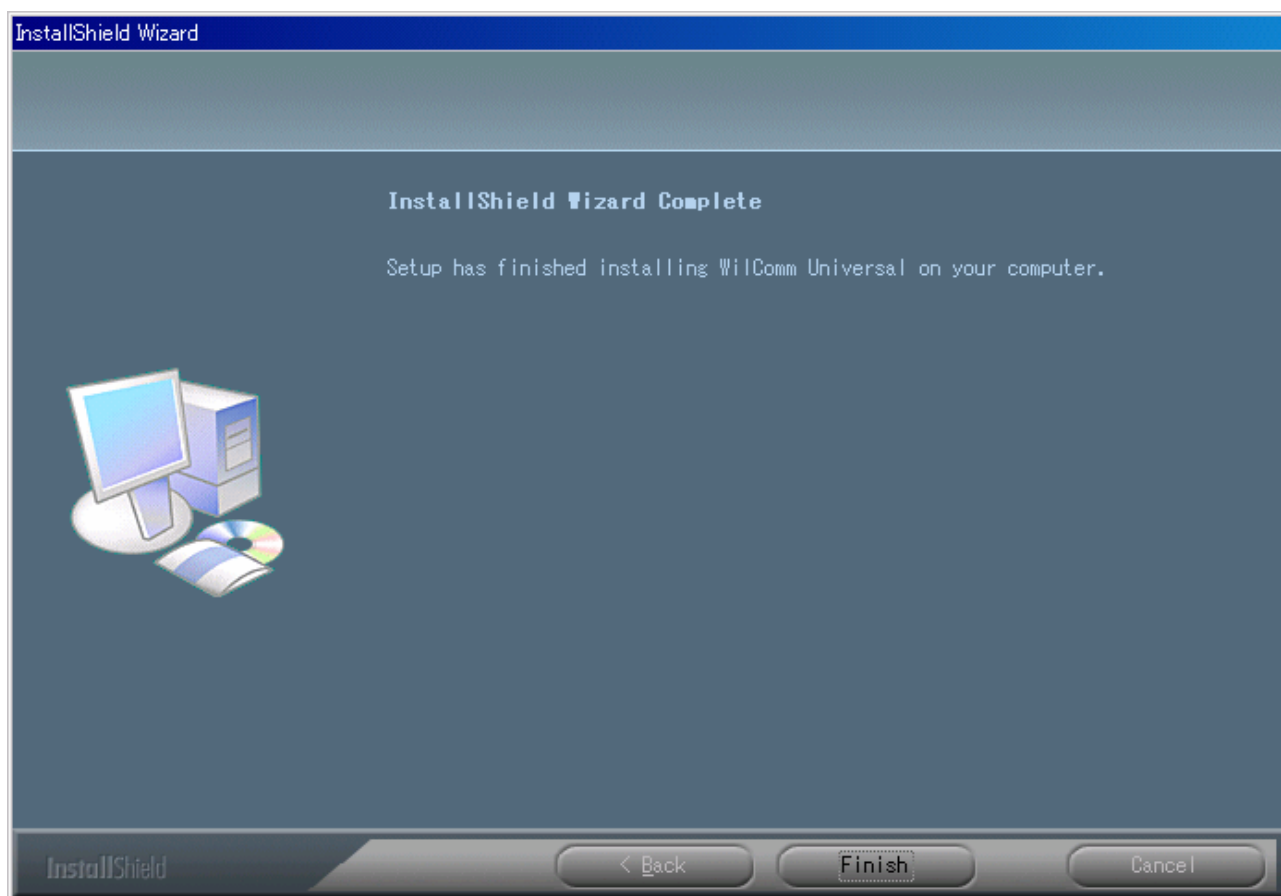
Windows2003 の場合、以下のメッセージが出る場合があります。



「OK」ボタンを押してください。（次頁まで進んだ後、P22 からの作業に進んでください。）



[OK]ボタンを押します。



[Finish]ボタンを押します。

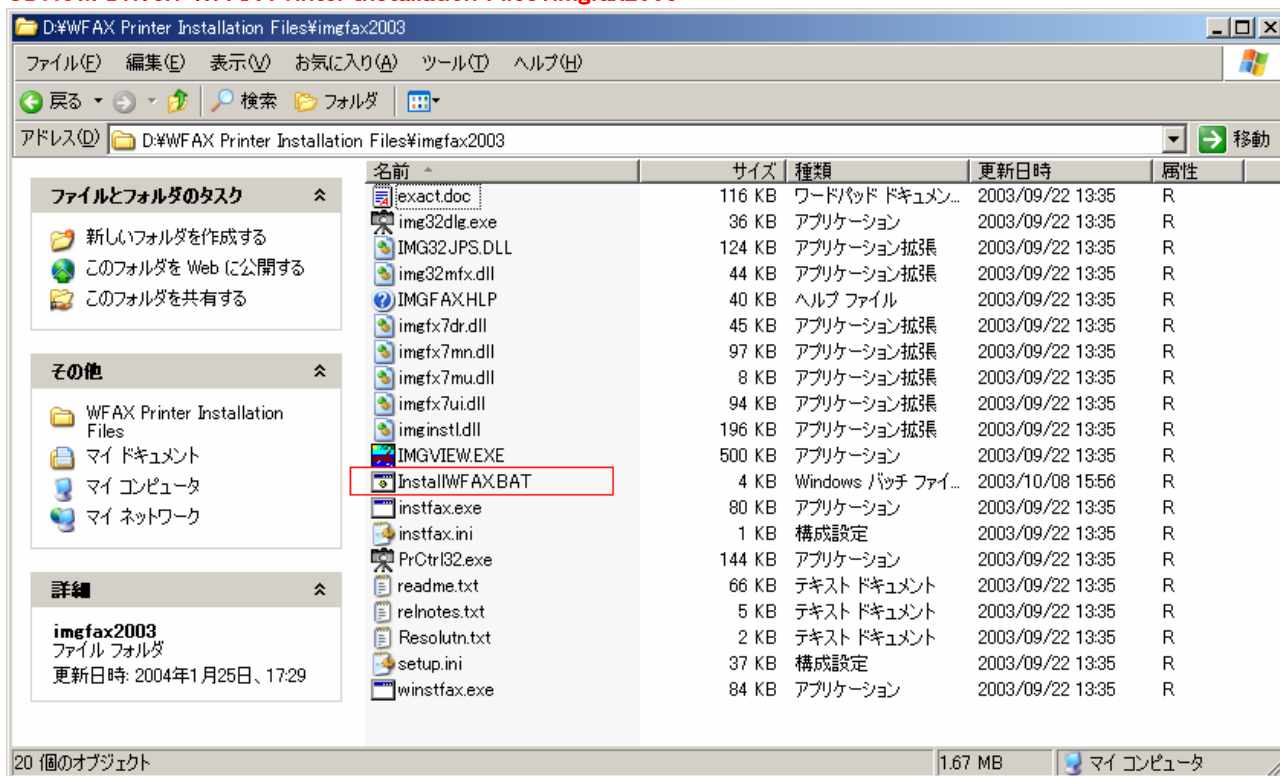
Windows2003 へのインストールで、**P20 の青枠部分**のエラーメッセージが表示された場合は、次頁に進んでください。それ以外は P25 に進んでください。

WilComm 導入手順書 Ver.7.15 SP2 for iSeries & PC

Windows2003 へのインストールで、P20 の青枠部分のエラーメッセージが表示された場合には、以下を実施してください。

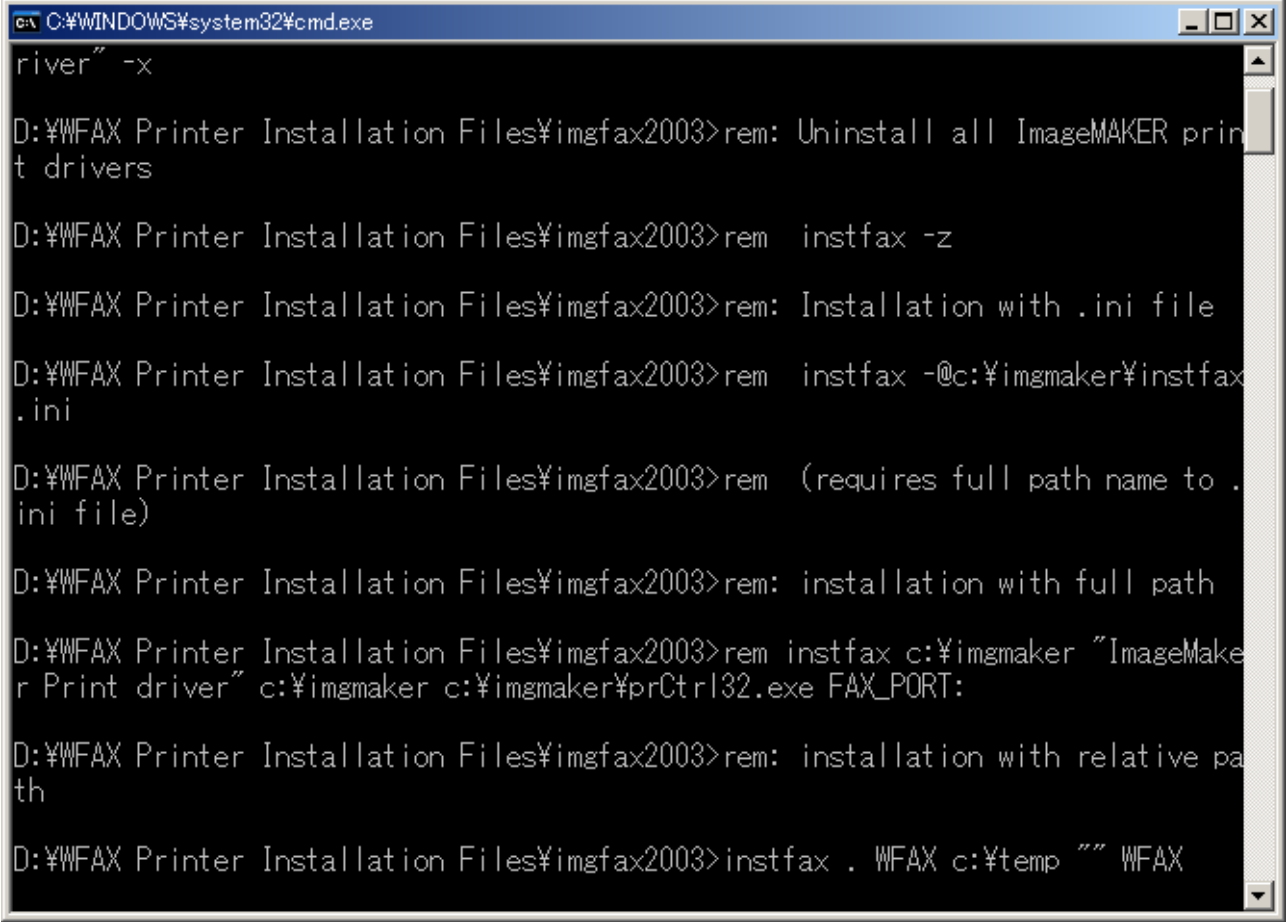
「WilComm 400 Ver.7.15 SP2」のラベルが付いたCDの以下ノフォルダをマイコンピュータから開いてください。

CDROM Drive:¥ W FAX Printer Installation Files¥imgfax2003



InstallWFAX.bat をダブルクリックします。

以下のような画面が表示されて、自動的にクローズします。



```
C:\WINDOWS\system32\cmd.exe
river" -x

D:\WFAX Printer Installation Files\imgfax2003>rem: Uninstall all ImageMAKER printer drivers

D:\WFAX Printer Installation Files\imgfax2003>rem instfax -z

D:\WFAX Printer Installation Files\imgfax2003>rem: Installation with .ini file

D:\WFAX Printer Installation Files\imgfax2003>rem instfax -@c:\imgmaker\instfax.ini

D:\WFAX Printer Installation Files\imgfax2003>rem (requires full path name to .ini file)

D:\WFAX Printer Installation Files\imgfax2003>rem: installation with full path

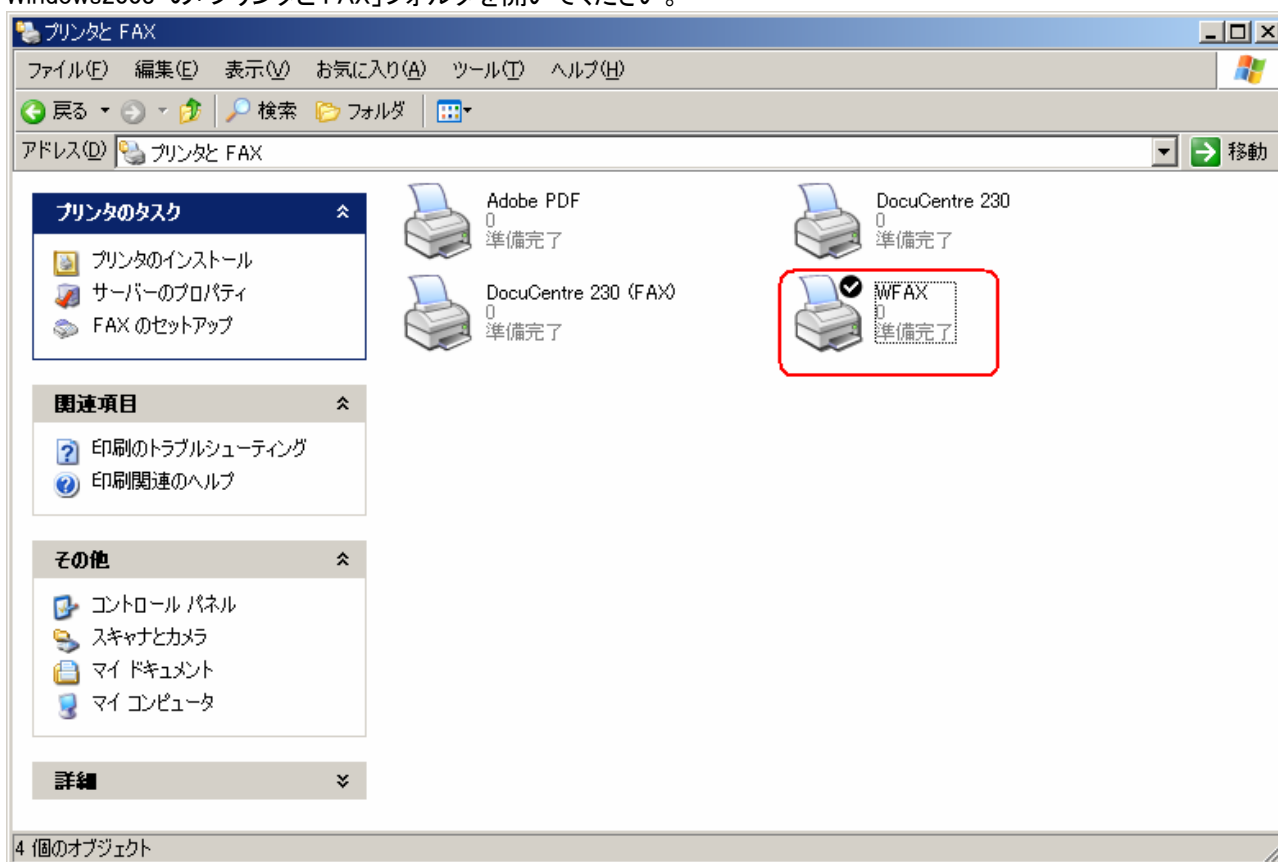
D:\WFAX Printer Installation Files\imgfax2003>rem instfax c:\imgmaker "ImageMaker Print driver" c:\imgmaker c:\imgmaker\prCtrl32.exe FAX_PORT:

D:\WFAX Printer Installation Files\imgfax2003>rem: installation with relative path

D:\WFAX Printer Installation Files\imgfax2003>instfax . WFAAX c:\temp "" WFAAX
```

クローズしましたら終了です。

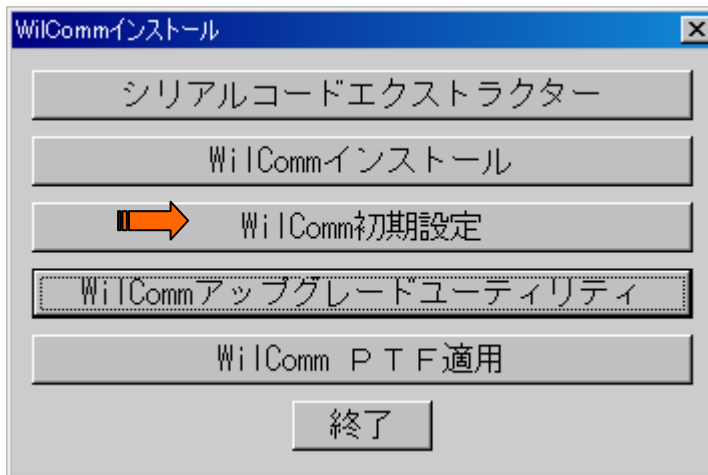
Windows2003 の「プリンタと FAX」フォルダを開いてください。



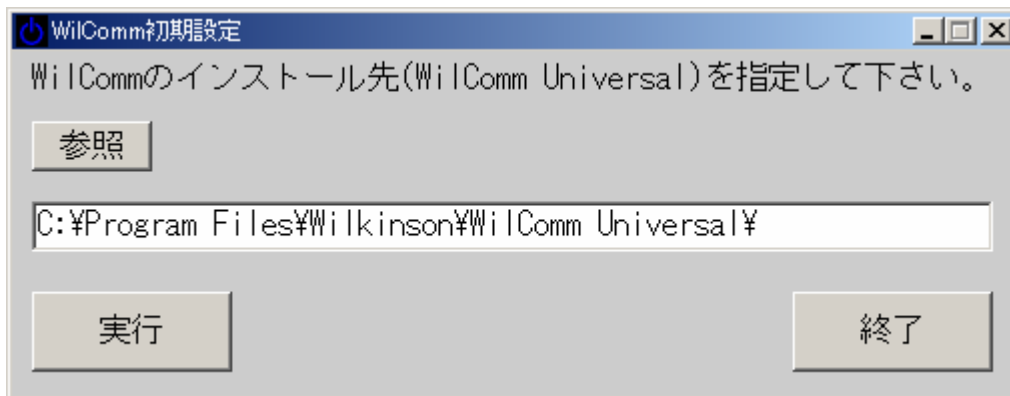
「WFAX」というアイコンが存在していれば正常です。

4. WilComm の初期設定

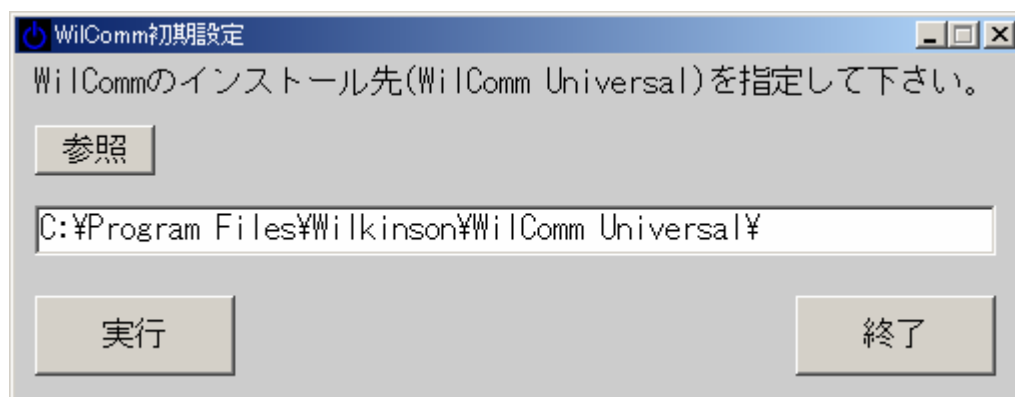
「WilComm 400 Ver.7.15 SP2」のラベルが付いた CD を PC サーバーの CD-ROM ドライブにセットして下さい。
自動的に下記のようなメニューが表示されます。
自動的に表示されない場合は、CD のルートにある WILMENU.EXE を実行して下さい。



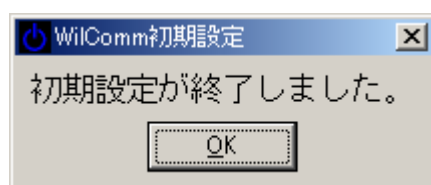
[WilCommの初期設定]を実行します。



WilComm を導入したフォルダー（WilComm Universal）を選択します。
デフォルトでインストールした場合、C:¥Program Files¥Wilkinson¥WilComm Universal になります。
パスを変更する場合は、「参照」ボタンを押して指定してください。



[実行]ボタンを押します。



[OK]ボタンを押します。

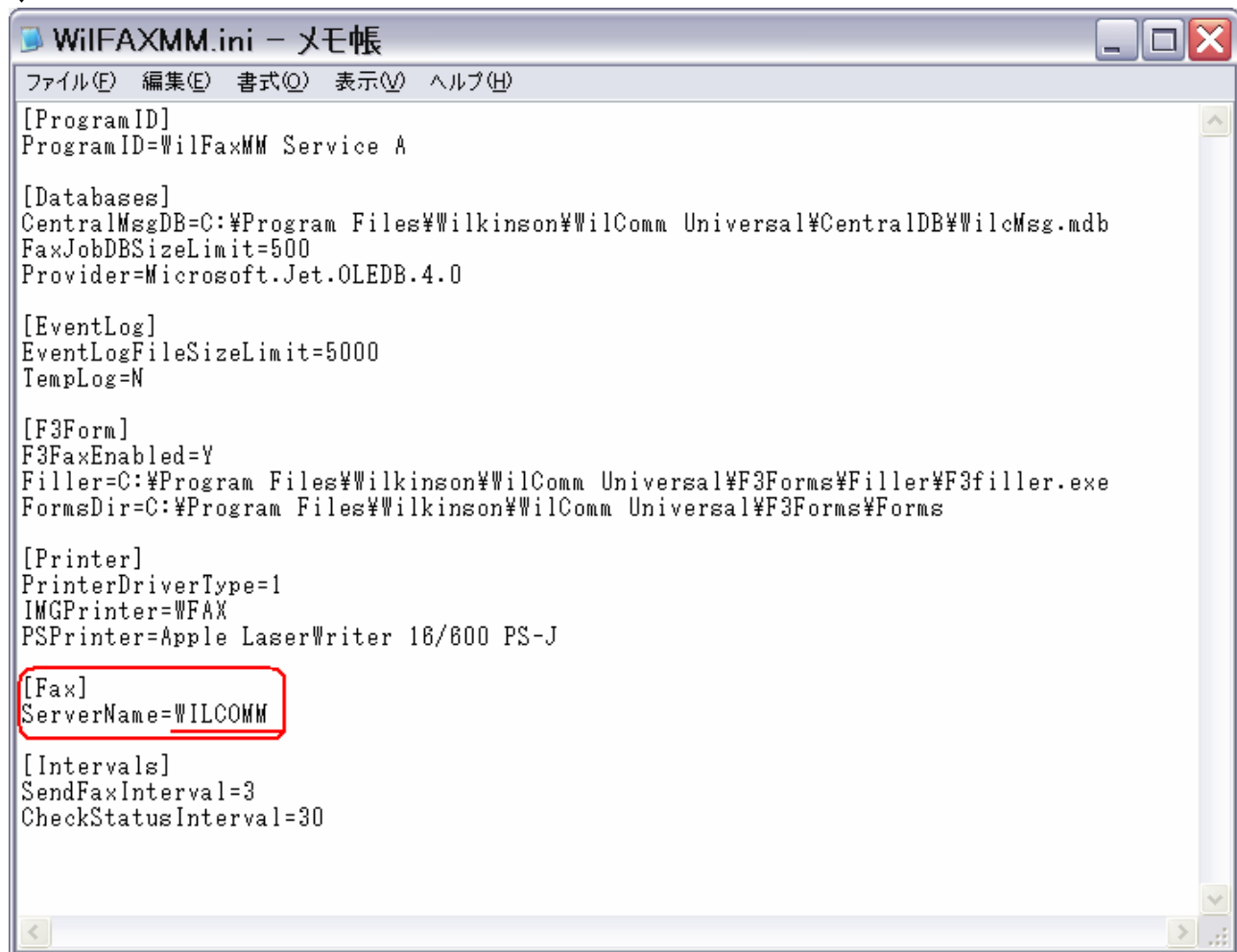
(注)ウィルコムファックス機能(ウィルファックス)をお使いになる場合は、以下のパスにありますウィルファックスの初期化ファイル(WilFAXMM.ini)をご確認ください。

C:\Program Files\Wilkinson\WilComm Universal\FaxMM\WilFAXMM.ini

(ドライブ名はお客様の環境で読み替えてください。)

WilFAXMM.in を、メモ帳等のテキストエディタで開いてください。以下のような内容が表示されます。

↓

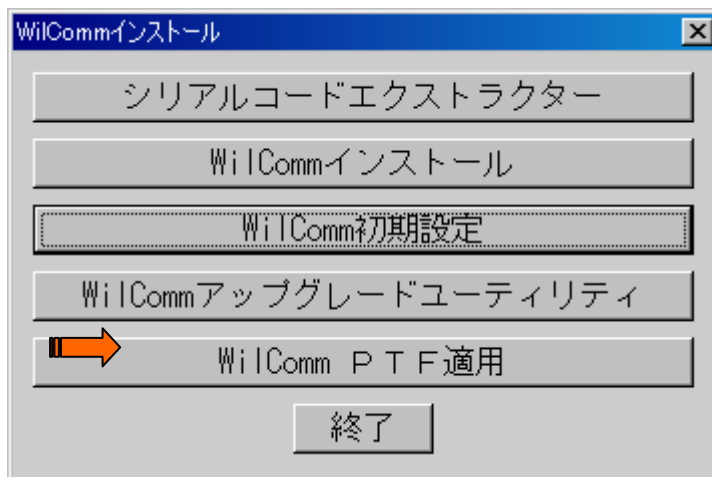


赤枠部分の「WILCOMM」の部分がお使いの PC のコンピュータ名になっていない場合は、修正してください。コンピュータ名は、マイコンピュータを右クリックからプロパティを選択した際に表示される Windows におけるコンピュータ名です。

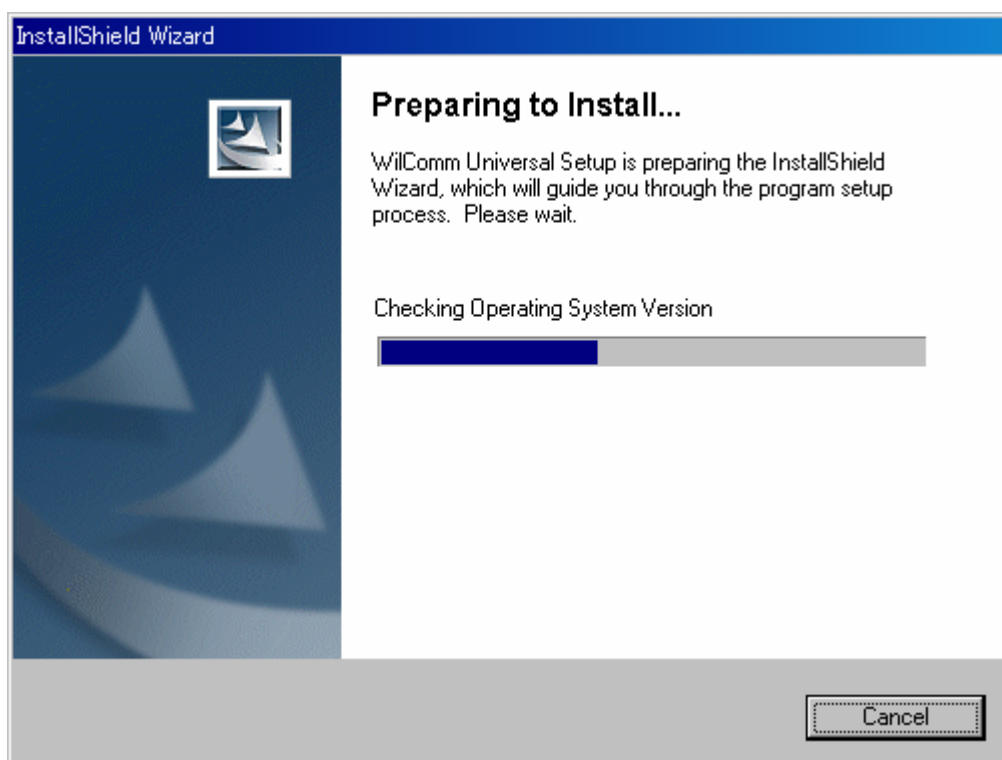
(例)コンピュータ名が、「WilServer」の場合、赤枠部分は「ServerName=WilServer」と修正してください。

5. WilComm の PTF 適用

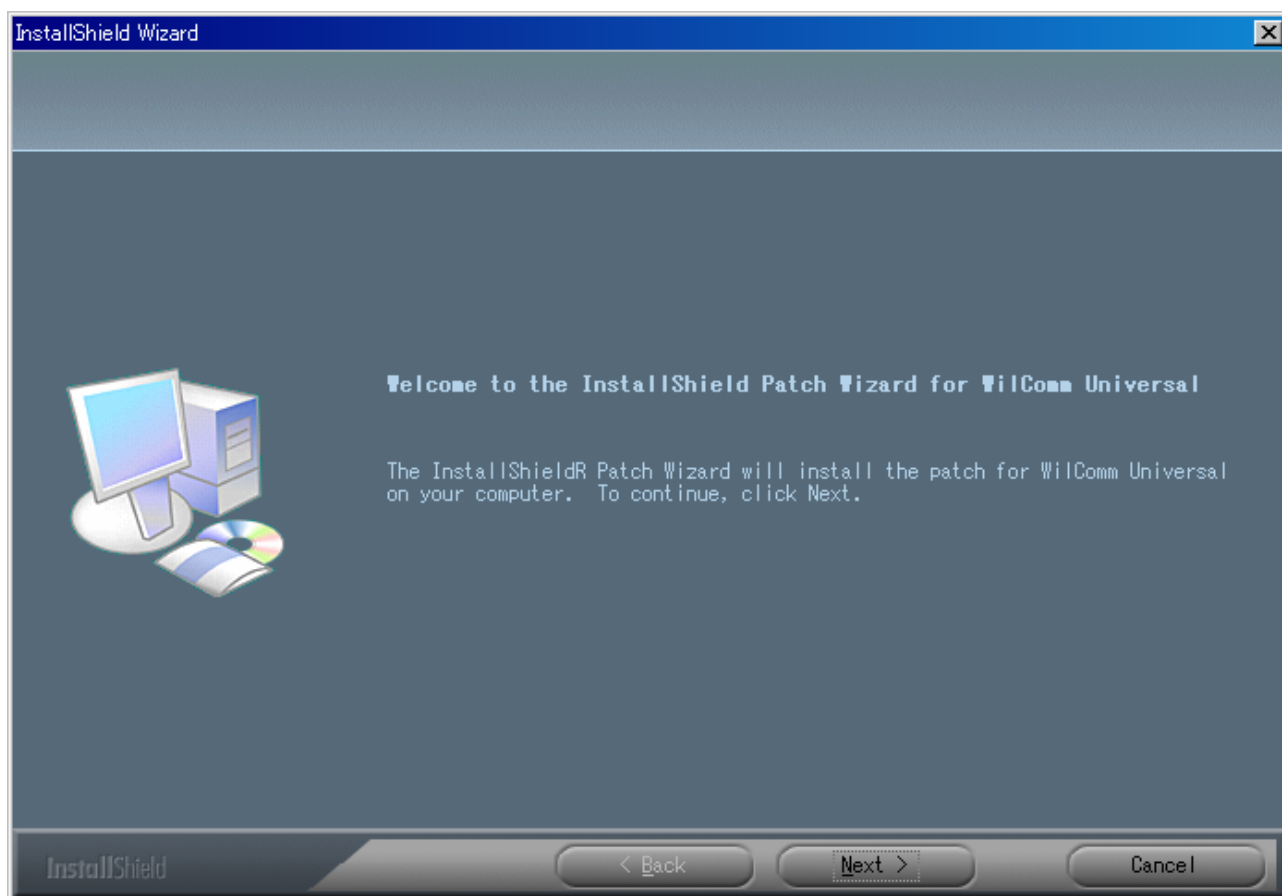
「WilComm 400 Ver.7.15 SP2」のラベルが付いた CD を PC サーバーの CD-ROM ドライブにセットして下さい。
自動的に下記のようなメニューが表示されます。
自動的に表示されない場合は、CD のルートにある WILMENU.EXE を実行して下さい。



[WilCommの PTF 適用]を実行します。

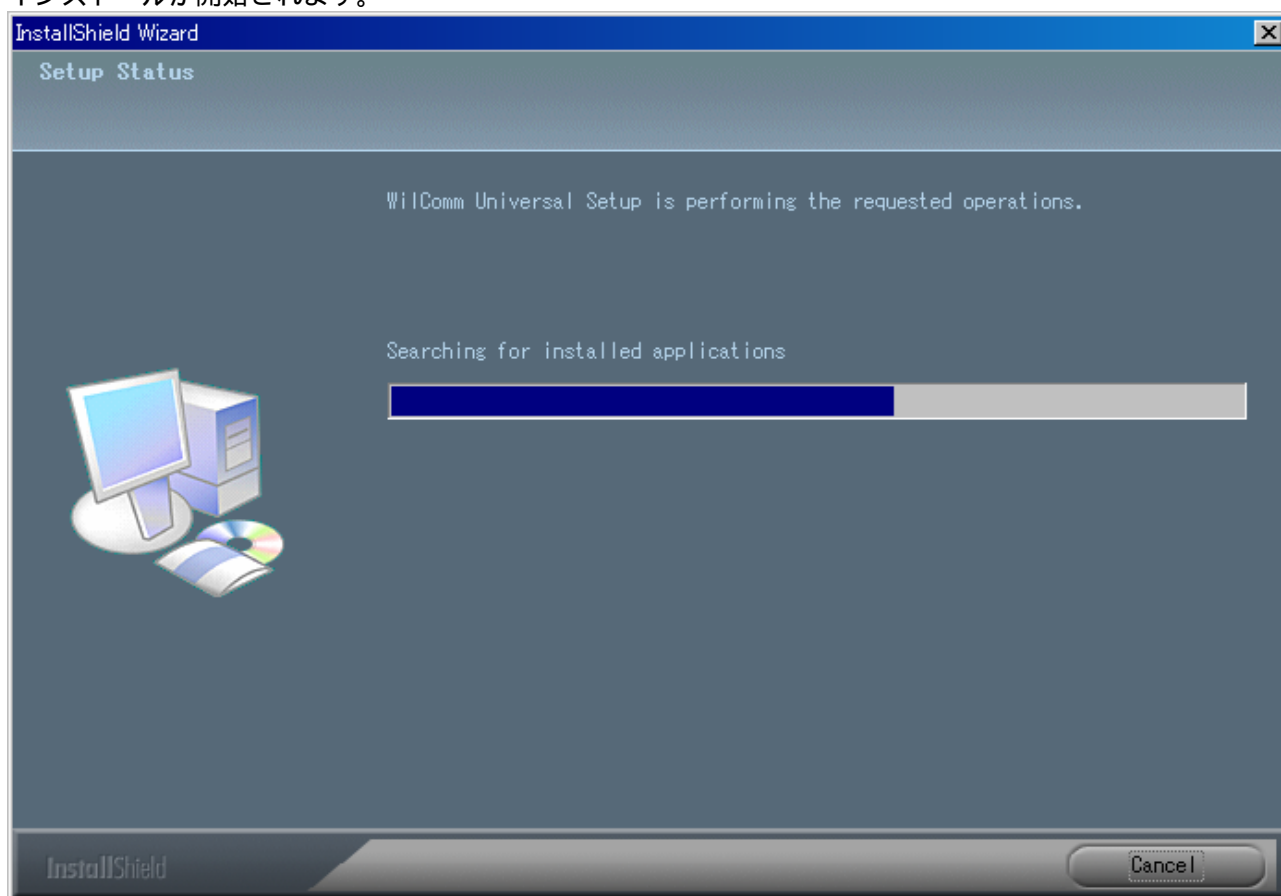


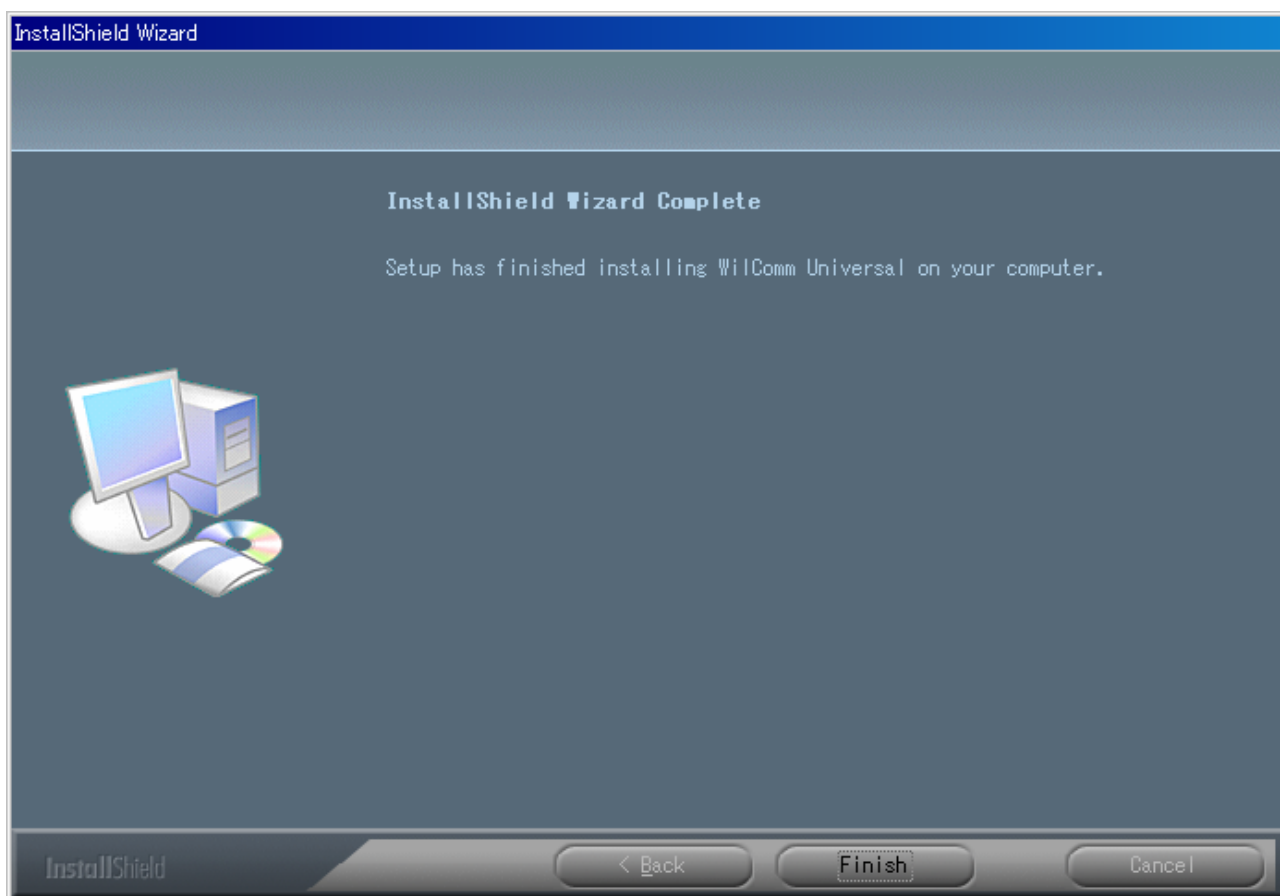
表示されない場合は、CD-ROMの中にある **Update.exe** を実行して下さい。



以上の画面が表示されましたら「Next」ボタンを押します。

インストールが開始されます。





以上のアップデートの終了画面が表示されたら、「Finish」ボタンを押します。

（注）「Finish」ボタンを押した後、P27 から以上までの流れが“自動的”にもう一度実行されます。同要領で「Next」ボタンを押して処理してください。

WilComm PC の P T F 適用作業は終了です。

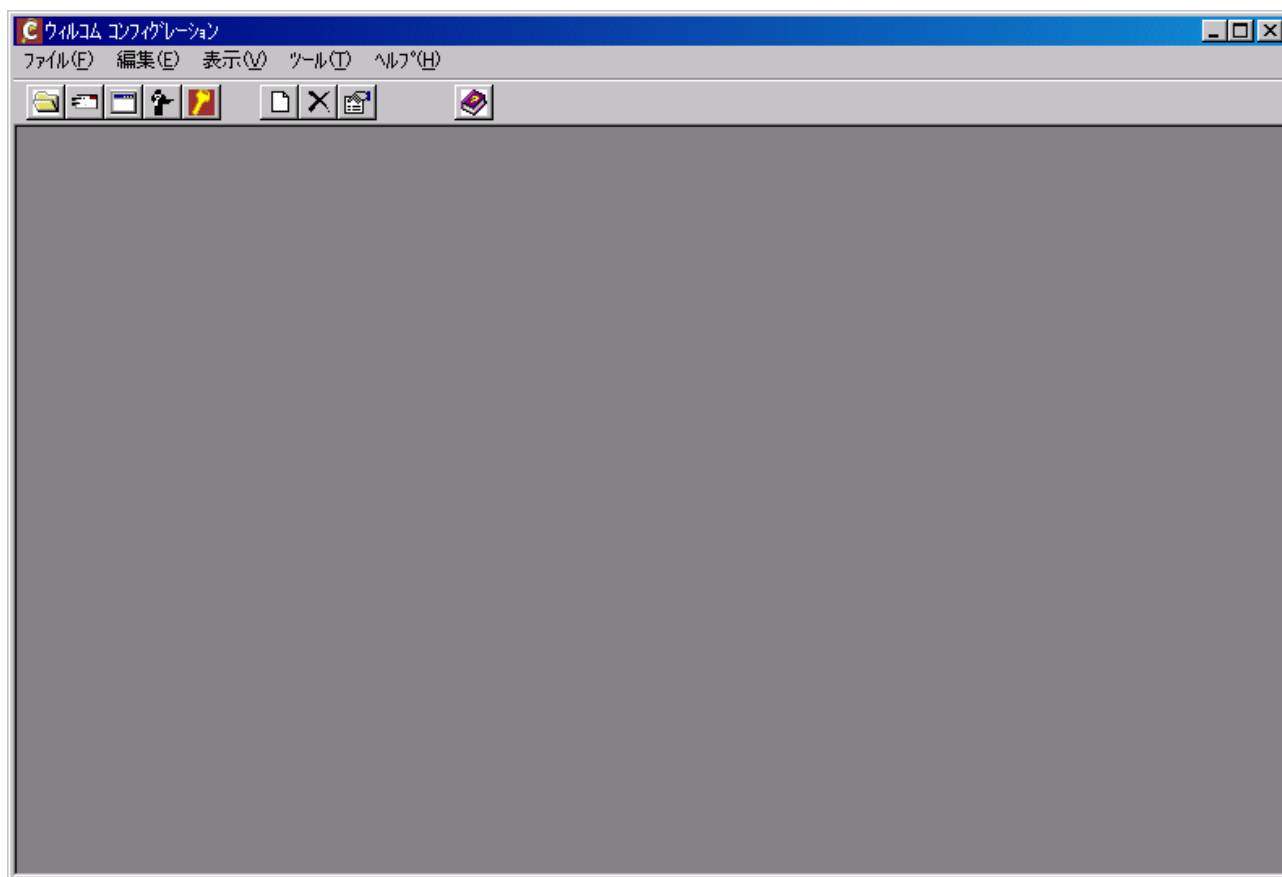
***PC サーバーに、フォームをデザインするためのウィルフォームス (WilForms) を導入する場合は、ラベル「WilComm 400 Ver.7.15 SP2」を CD-ROM から取り出し、ラベル「Forms Designer」の CD を PC の CD-ROM ドライブにセットし、マニュアル「導入手順書 WILForms」INS011 に従ってインストールしてください。**

C D - R O M を取り出して PC サーバーを再起動して下さい。

以上で PC サーバーへの WilComm インストールは終わりです。

6. WilComm ライセンスキーの入力

[スタート]-[プログラム]- [Wilkinson]- [WilComm Universal]-[WilComm Config]を起動します。



[表示]-[AuthorizationCode]を実行します。

ウィルコムPCシリアルコードは、このマシンのユニークなIDです。Wilkinson Computer Services Pty. Ltd.よりウィルコムのライセンス購入時、このシリアルコードをお渡しします。
 コードを打ち込むと解凍しさを解除するため、[コピー]ボタンによりエディターへの貼り付けができます。または[ファイルに保存]ボタンによりシリアルコードをテキストファイルの保存することができます。

PC シリアル コード: -- -- --

ウィルコムのライセンスをご購入されますと、ライセンスを証明します権限コードが発行されます。以下のフィールドに権限コードを入力して下さい。

権限コード: -- -- -- -- --

失効日: Label1

ピックアップグループ数:

プリンター数:

ウィルプリント サービス プログラム数:

ウィルファックス サービス プログラム数:

ウィルメール サービス プログラム数:

ウィルテレックス サービス プログラム数:

ウィルコムテキスト サービス プログラム数:

ウィルファイル サービス プログラム数:

[権限コード]欄にライセンスキーを入力して、OK ボタンを押します。

入力が終わったら、WilComm Config を終了して下さい。

7. MESSAGEmanager のインストール

FAX機能を使用しない場合は必要ありません

FAX機能を使用する場合は、「導入手順書 MESSAGEmanager Ver.6.3」INS006 或いは「導入手順書 MESSAGEmanager Ver.7.0」INS012 を参照して、FAXサーバーのインストールを行って下さい。

(注意)

WindowsNT を使用している場合、MESSAGEmanager Ver.6.3 / Ver.7.0 は使用できません。WindowsNT の場合は、MESSAGEmanager Ver.6.2 を使用します。お手元に MESSAGEmanager Ver.6.2 の CD が届いていることを確認してください。インストールに際しては、マニュアル「導入手順書 MESSAGEmanager Ver.6.2」INS005 を参照してください。

8. Adobe Acrobat のインストール

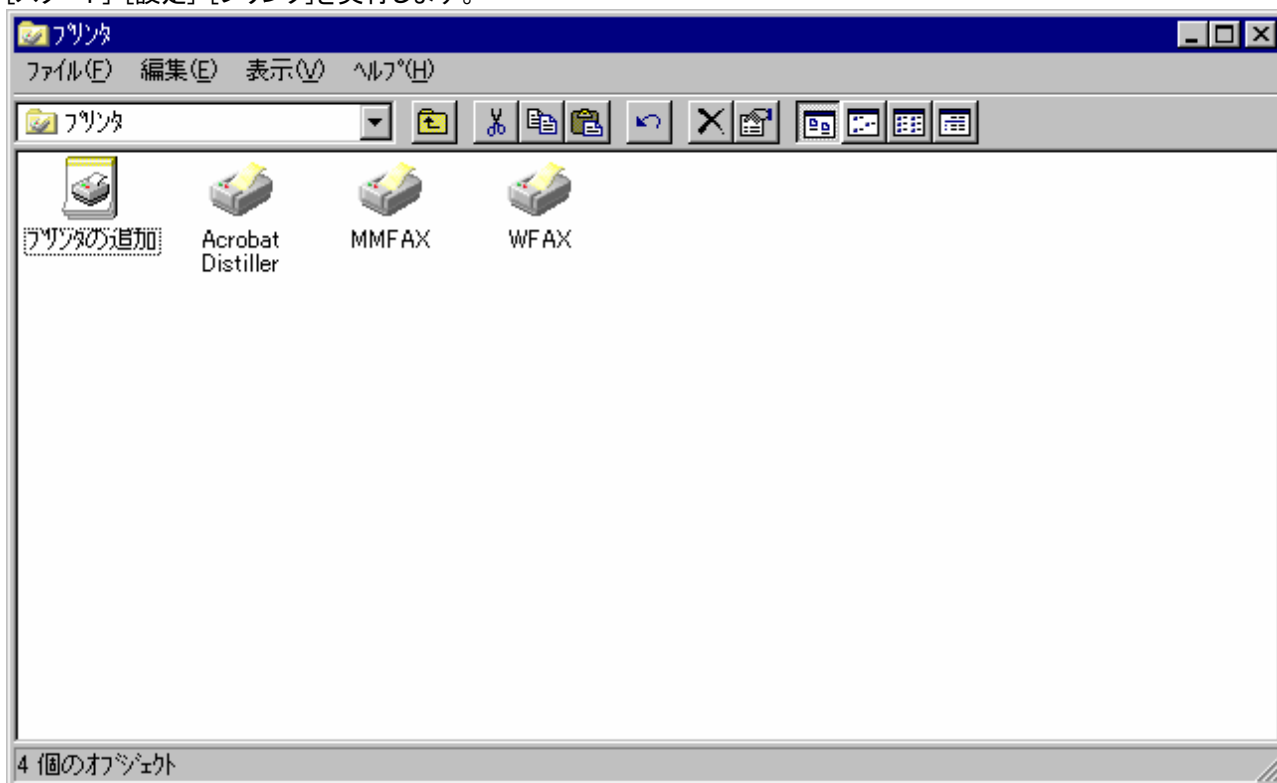
メールおよびファイル機能を使用しない場合は必要ありません

iSeries のスプールファイルをPDFファイルに変換するためには、Adobe Acrobat が必要となります。
(Adobe Acrobat は無償で提供されている Reader ではなく、製品版をご用意下さい。)

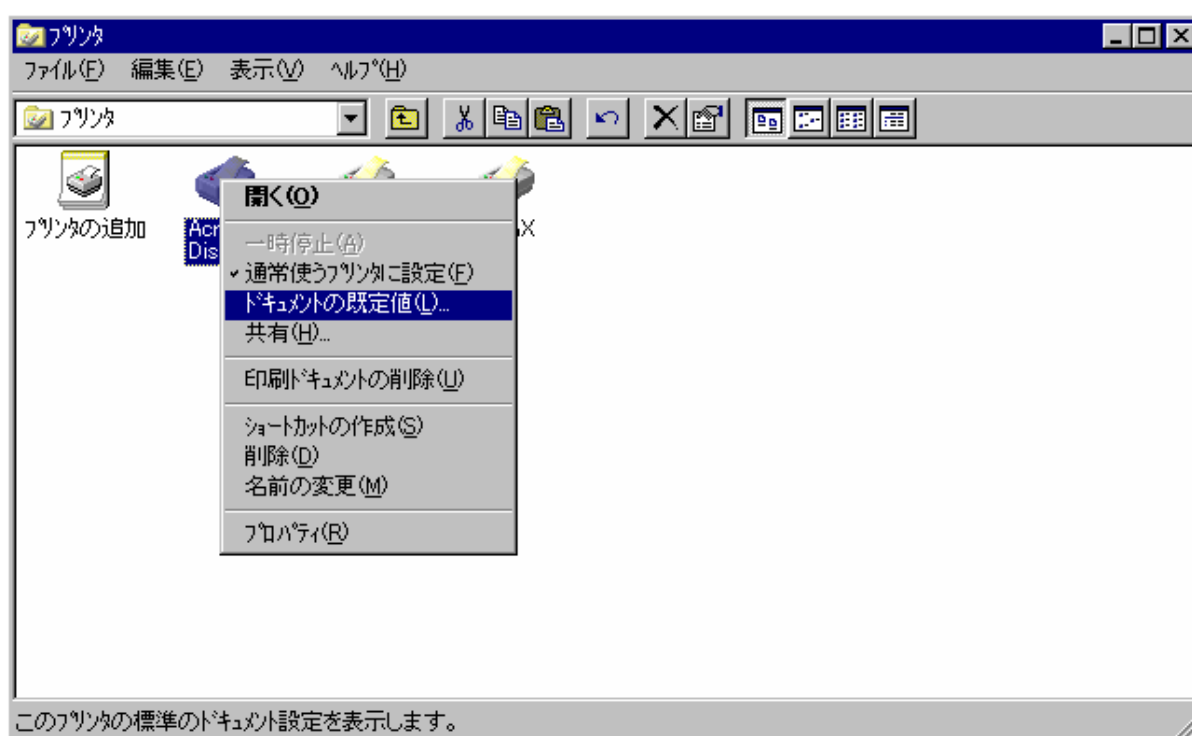
PCサーバーに Adobe Acrobat がインストールされていることを確認して下さい。
インストールされていない場合は、PCサーバーへインストールを行って下さい。

Adobe Acrobat 5.0 または 6.0 をインストールした場合、以下の手順でプリンターの設定を変更して下さい。
Acrobat 6.0 の場合、プリンター名は、Acrobat Distiller ではなく、Adobe PDF となります。

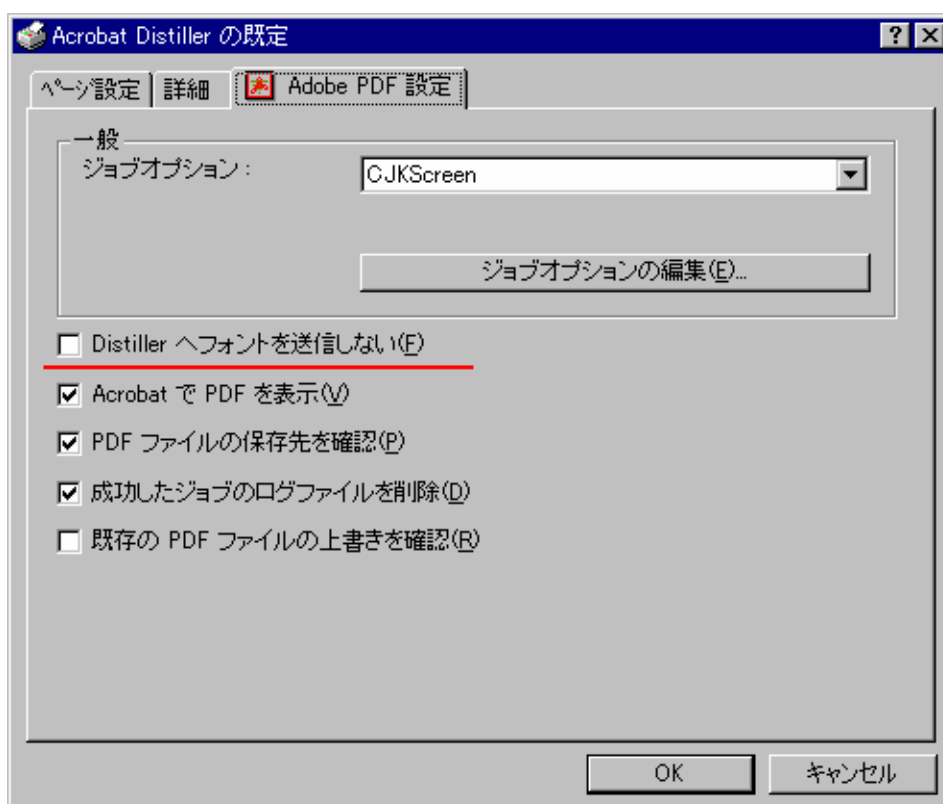
[スタート]-[設定]-[プリンタ]を実行します。



Acrobat Distiller または Adobe PDF アイコンがあることを確認してください。



Acrobat Distiller または Adobe PDF アイコンを右クリックして、「ドキュメントの既定値」を選択します。



「Adobe PDF 設定」タブを選択します。

「Distiller ヘフォントを送信しない」のラジオボタンのチェックをはずして、OK ボタンを押してください。

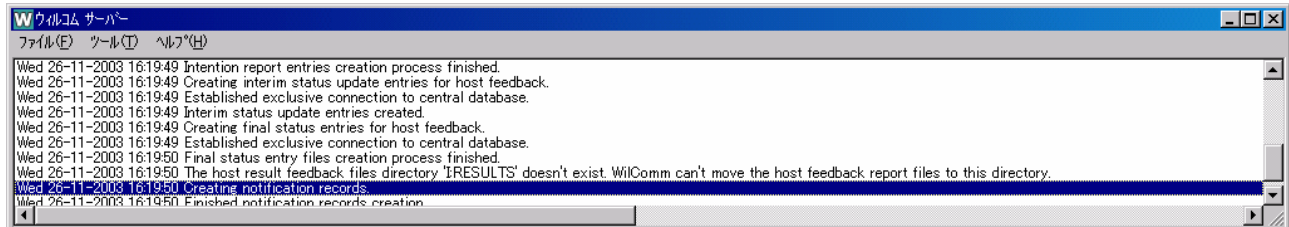
9. DocuWorks のインストール

ファイル機能を使用しない場合は必要ありません

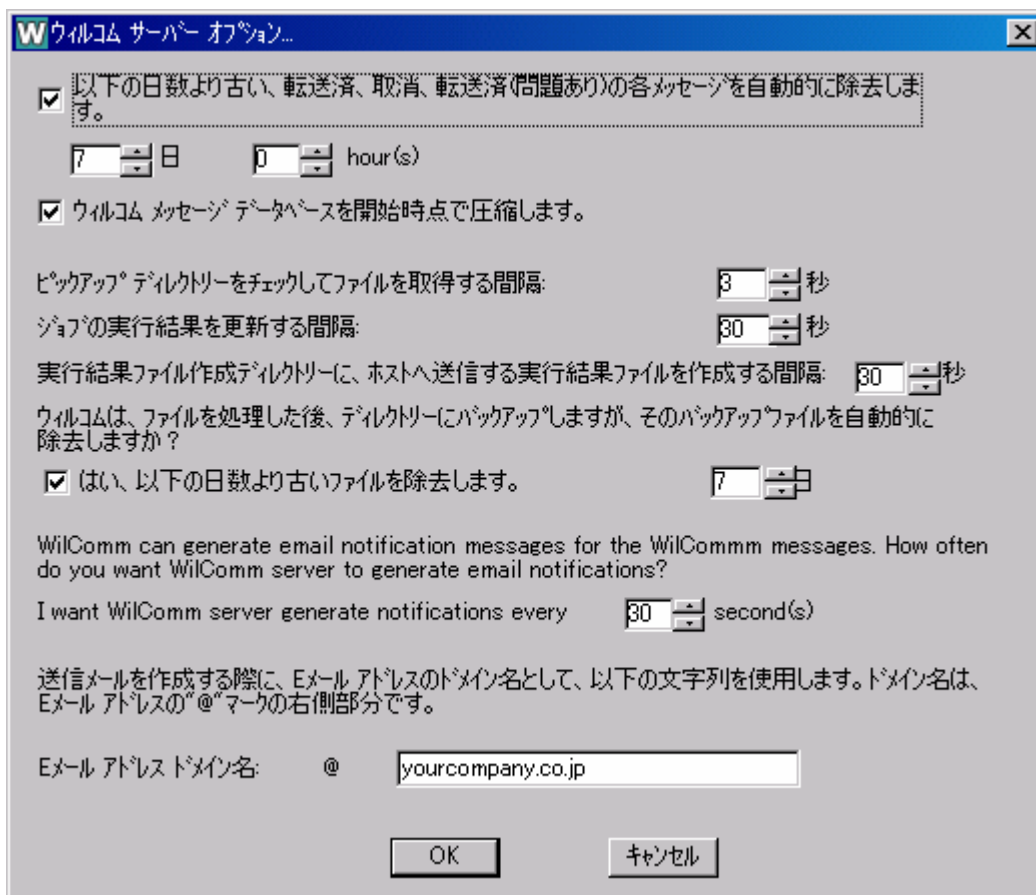
iSeries のスプールファイルを DocuWorks ファイルに変換するためには、DocuWorks が必要となります。

10. WilComm Server のセットアップ

[スタート]-[プログラム]-[Wilkinson]-[WilComm Universal]-[WilComm Server]を起動します。



[ツール] - [オプション]を開きます。



[E メール アドレス ドメイン名]の項目を適切なものに書き換えます。

メールを使用しない場合、変更の必要はありません

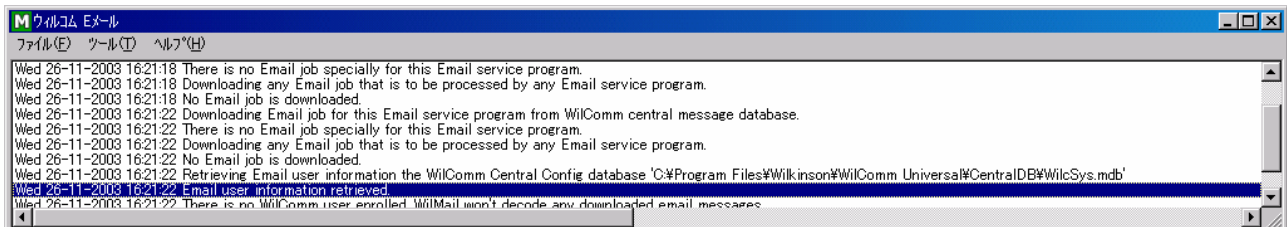
[OK]ボタンを押します。

WilComm Server を終了させます。

11. WilMail のセットアップ

WilMail の設定

[スタート]-[プログラム]- [Wilkinson]- [WilComm Universal]-[WilMail]を起動します。



[ツール] - [オプション]を開きます。



[送信]タブをクリックします。

M ウィルメール オプション

全般 **送信** 受信 PDF

☒ Eメール送信可能

SMTP サーバードメイン名: yourcompany.co.jp

SMTP Server Name: mail.yourcompany.co.jp

SMTP サーバアドレス: mail.yourcompany.co.jp

SMTP サーバポート: 25

SMTP 接続タイムアウト: 3000 millisecond(s)

SMTP へのメール送信間隔: 3 秒

Maximum attempts to send a: 30 time(s)

OK キャンセル

[E メール送信可能]のチェックボックスに印を付けて下さい。

SMTP サーバードメイン名、SMTP サーバー名、SMTP サーバーアドレスを指定します。

[SMTP サーバードメイン名]には、通常メールアドレスのドメイン名(@マークの右側)を指定します。
サーバーによっては、ドメイン名を要求しないケースもありますので、その場合はブランクにします。

[SMTP Server Name]には、通常 DNS サーバーに登録されているメールサーバー名を指定します。
サーバーが DNS に登録されていないケースなどでは、メールサーバーのコンピュータ名を指定します。
Proxy サーバー等を使用しているケースでは、メールサーバーではなく、Proxy サーバーを指定する場合があります。
もしサーバー名が不明でIPアドレスのみ解っている場合は、IPアドレスを入力して下さい。

[SMTP サーバアドレス]には、メールサーバーのIPアドレスを指定します。
外部プロバイダーのメールサーバーを利用している場合、複数のメールサーバーが稼働していて
特定のIPアドレスに絞り込む事が難しい場合があります。
その場合は、SMTP Server Name を入力して下さい。

[受信]タブをクリックします。

M WilMail オプション

全般 | 送信 | **受信** | PDF

☐ Eメール受信可能

POP サーバー名: pop.yourcompany.co.jp

POP サーバー アドレス: pop.yourcompany.co.jp

POP サーバー ポート: 110

POP 接続タイムアウト: 3000 millisecond(s)

POP サーバー ポーリング間隔: 100 秒

受信メール デレクター: I#INCOMING

受信メール ファイル名のプレフィックス: M

受信メール ファイル名の拡張子: SV1

OK キャンセル

受信を行わない場合は設定の必要はありません
[E メール受信可能]のチェックボックスの印をはずして下さい。

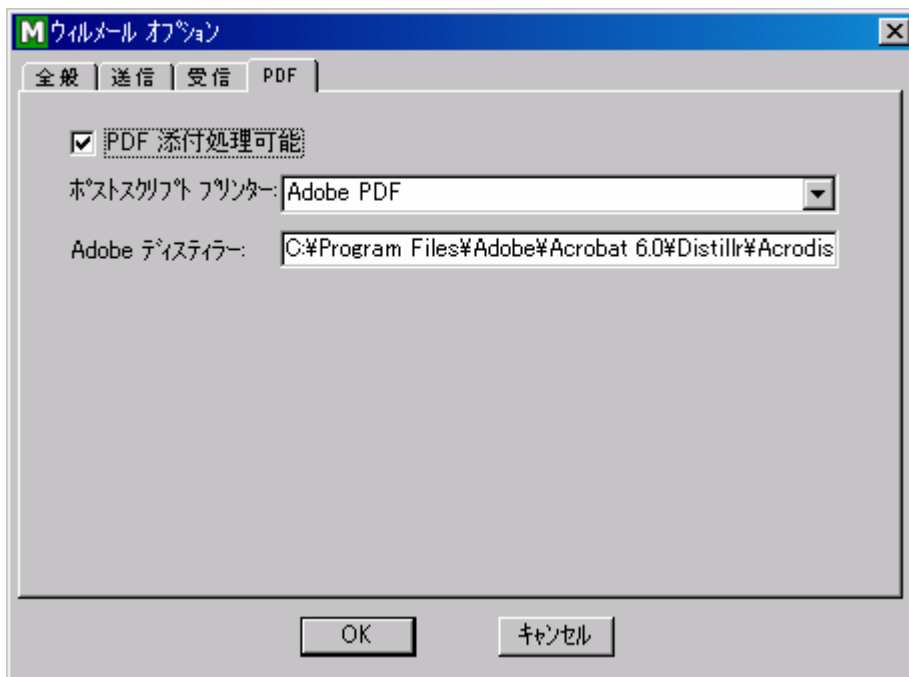
受信を行う場合は、[E メール受信可能]のチェックボックスに印を付けて下さい。
POP サーバー名、POP サーバーアドレスを指定します。

[POP サーバード名]には、通常 DNS サーバーに登録されているメールサーバー名を指定します。
サーバーが DNS に登録されていないケースなどでは、メールサーバーのコンピュータ名を指定します。
Proxy サーバー等を使用しているケースでは、メールサーバーではなく、Proxy サーバーを指定する場合があります。
もしサーバー名が不明でIPアドレスのみ解っている場合は、IPアドレスを入力して下さい。

[POP サーバードアドレス]には、メールサーバーのIPアドレスを指定します。
外部プロバイダーのメールサーバーを利用している場合、複数のメールサーバーが稼働していて
特定のIPアドレスに絞り込む事が難しい場合があります。
その場合は、POP サーバー名を入力して下さい。

iSeries のスプールファイルをPDFファイルに変換してメールに添付する場合は、[PDF]タブをクリックして下さい。

PDFファイルの添付を使用しない場合は、[OK]を押して、WilMail を終了させて設定は完了です。
PDFファイルを使用する場合は、次ページ以降の設定を行って下さい。



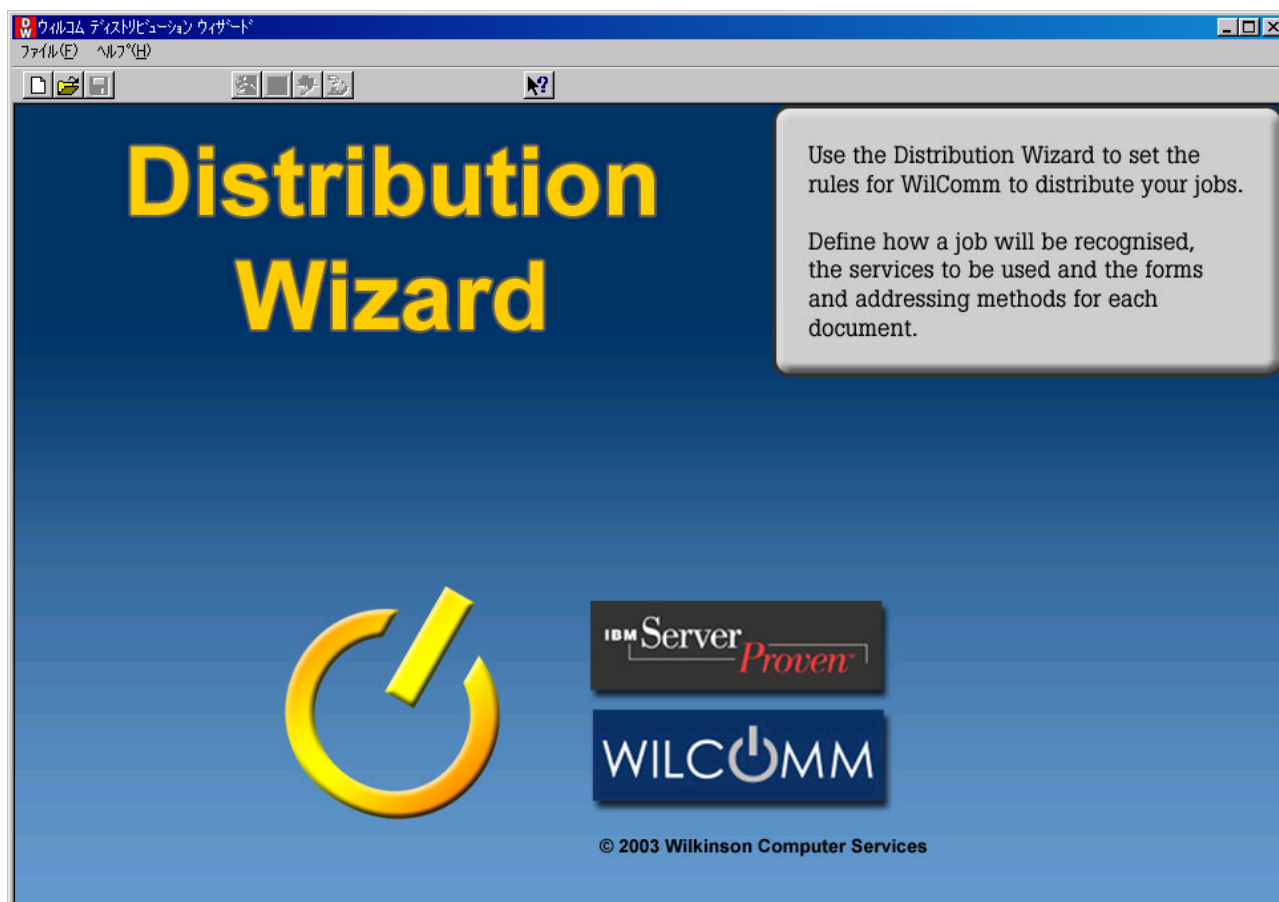
[PDF 添付処理可能]のラジオボタンに印を付けます。

[ポストスクリプトプリンター]の欄は、**Acrobat Distiller** または **Adobe PDF** を選択して下さい。

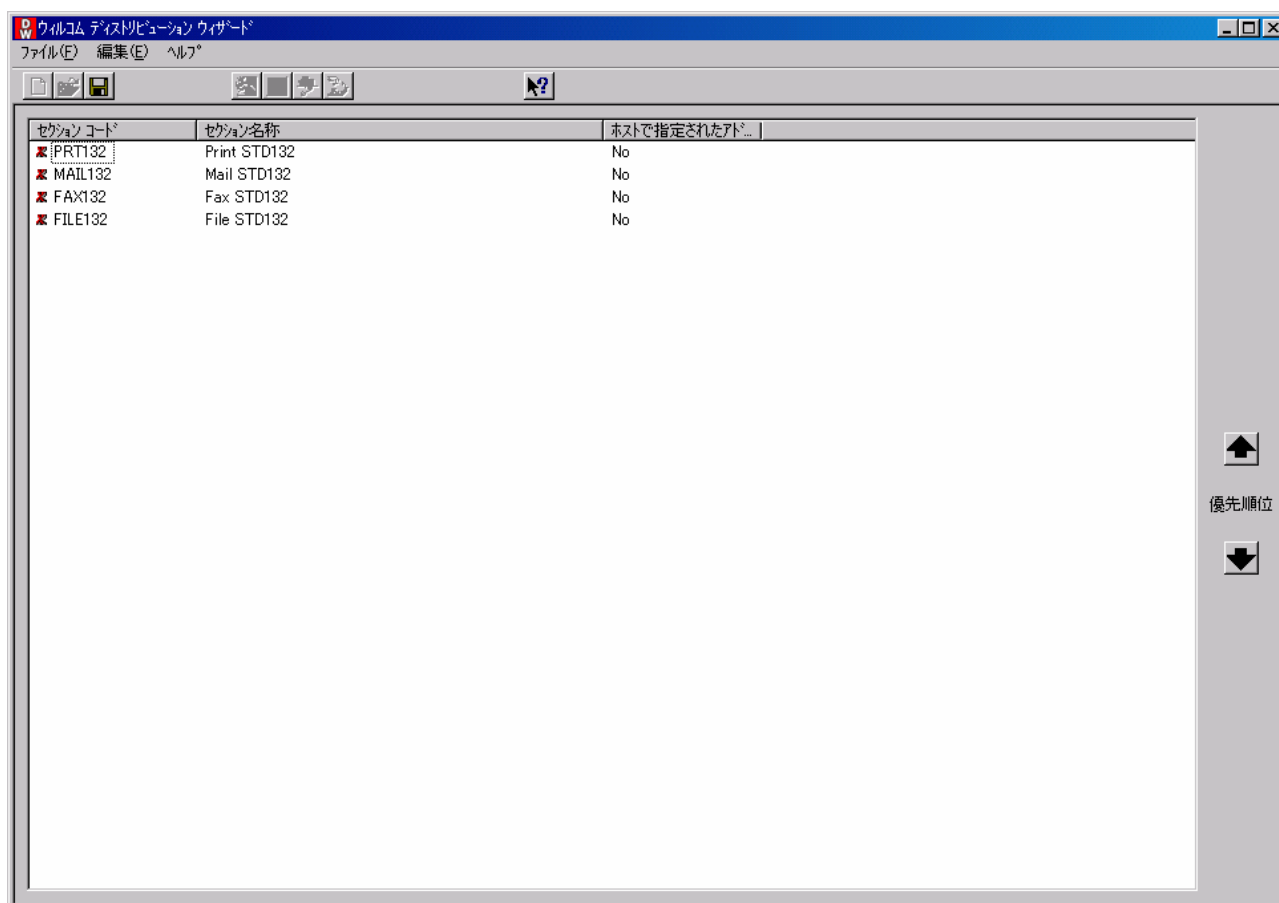
[Adobe ディスティラー]の欄に、Acrodist.exe の正しいパスを入力します。
デフォルト値は、Adobe Acrobat 6.0 をインストールした場合のパスになっています。
インストール先のドライブを変更している場合には、適切なパスに書き換えて下さい。

[OK]ボタンを押します。
WilMail を終了させます。

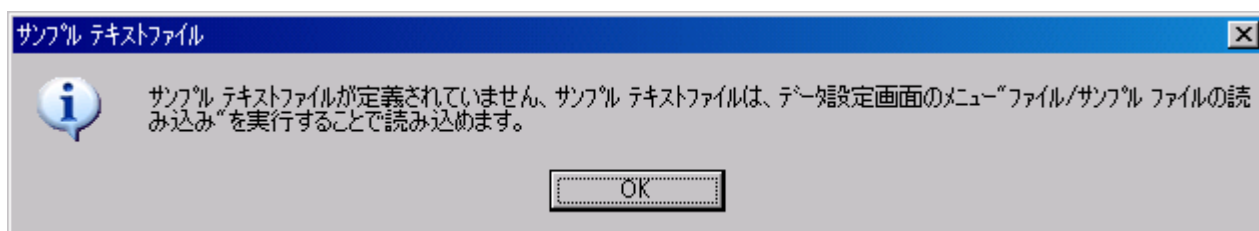
[スタート]-[プログラム]-[Wilkinson]-[WilComm Universal]-[Distribution Wizard]を起動します。



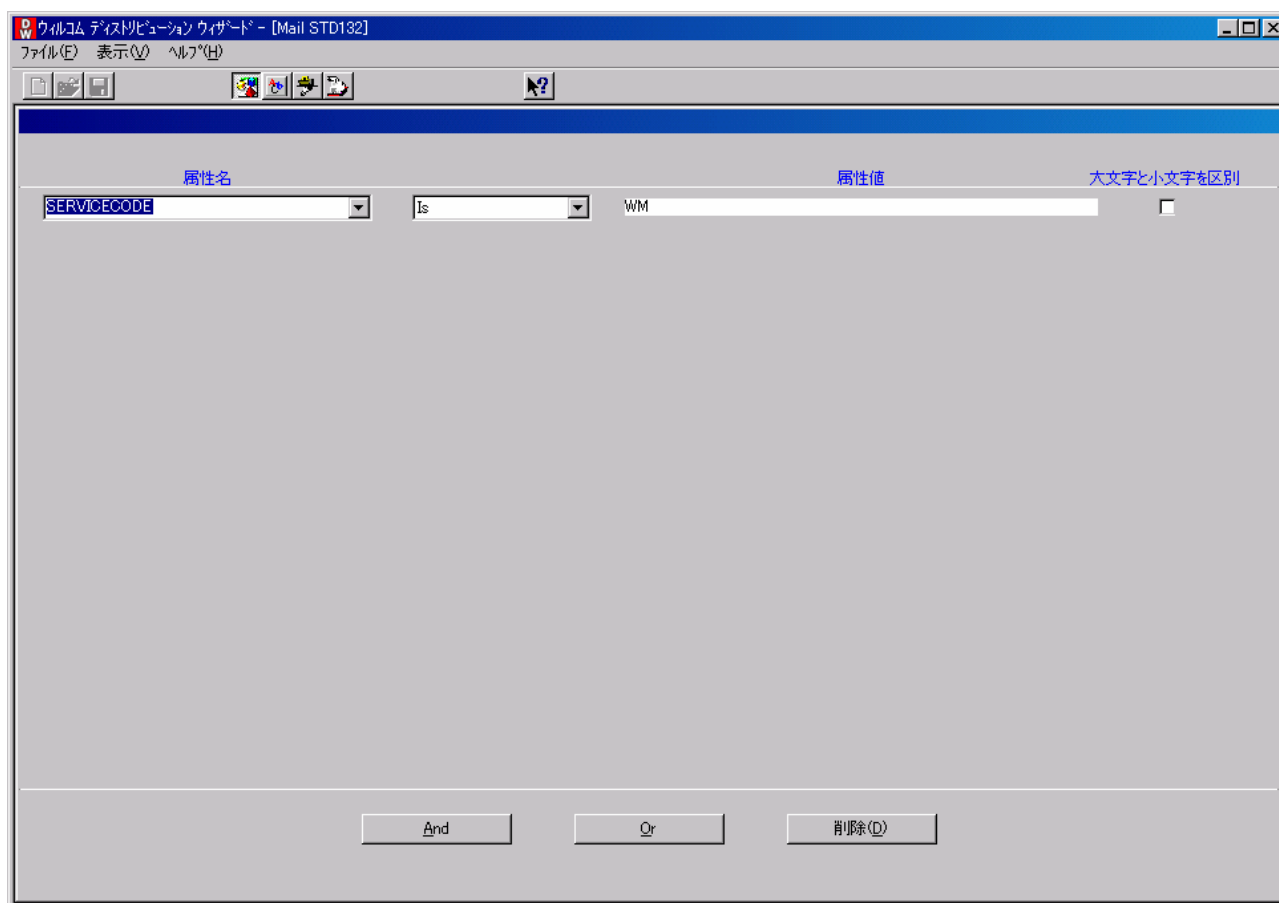
[ファイル]-[開く]を実行します。



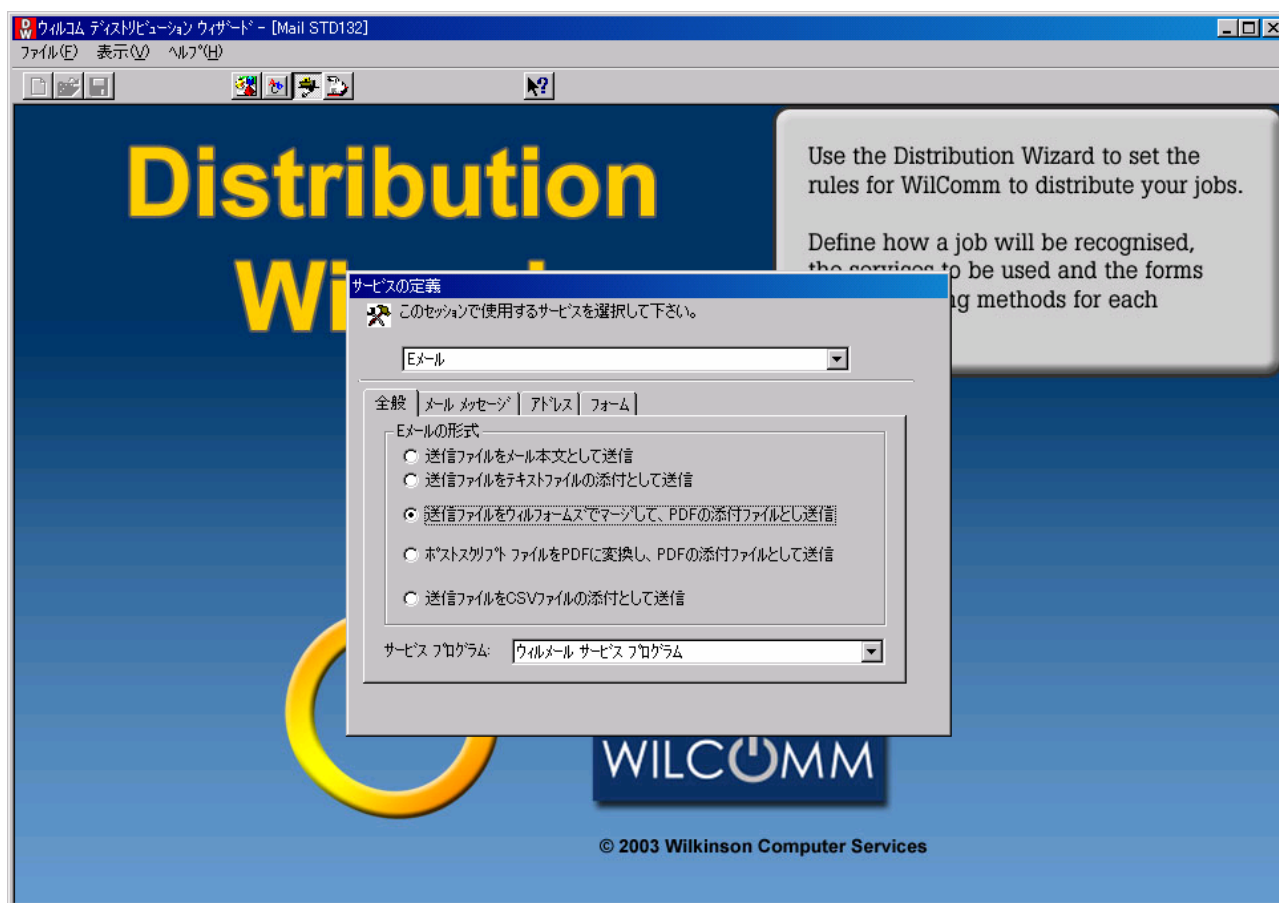
セクションコード MAIL132 をダブルクリックします。



[OK]ボタンを押します。

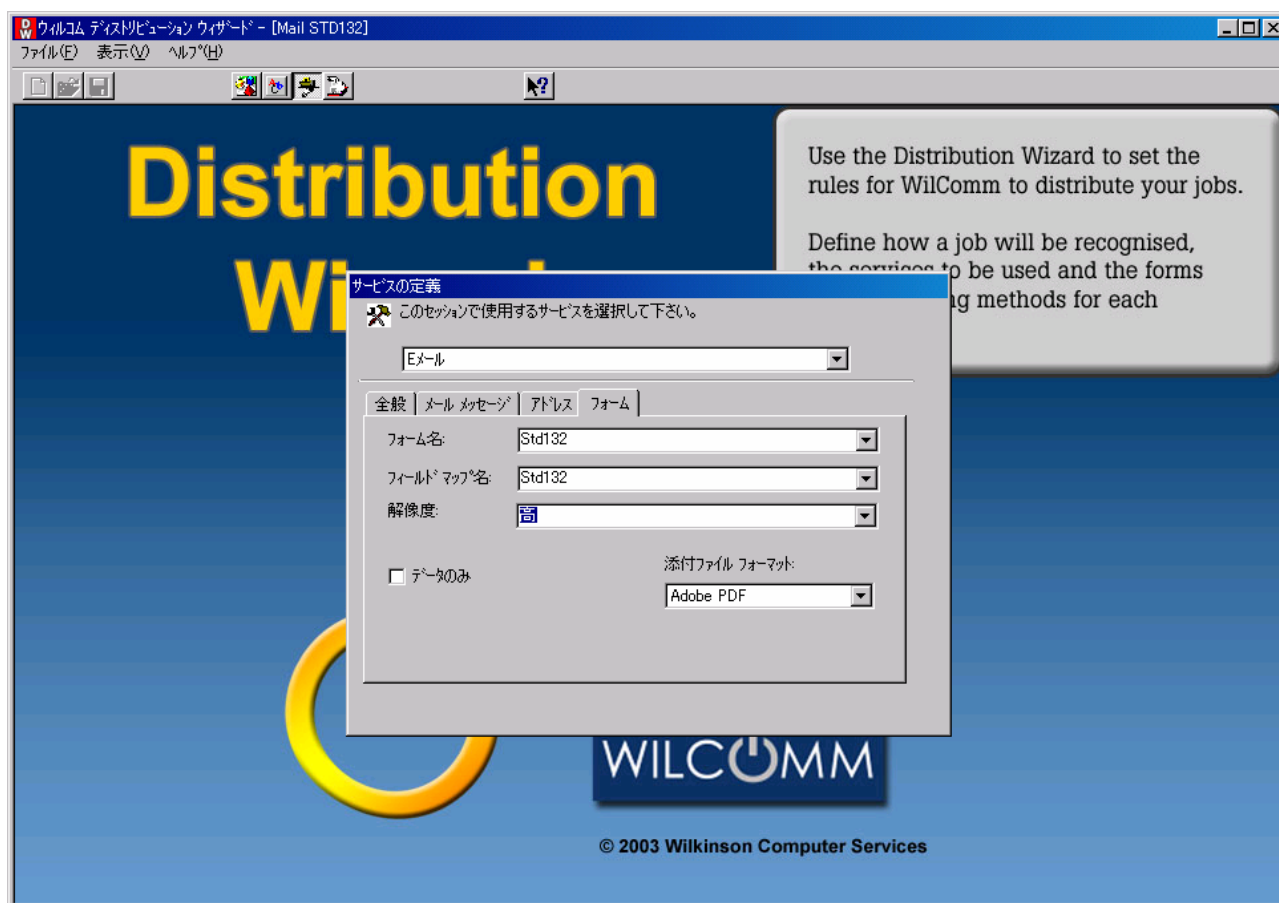


[表示]-[サービス設定]を開きます。



[送信ファイルをウィルフォームでマージして、PDF の添付ファイルとして送信]のラジオボタンに印を付けます。

[フォーム]タブをクリックします。

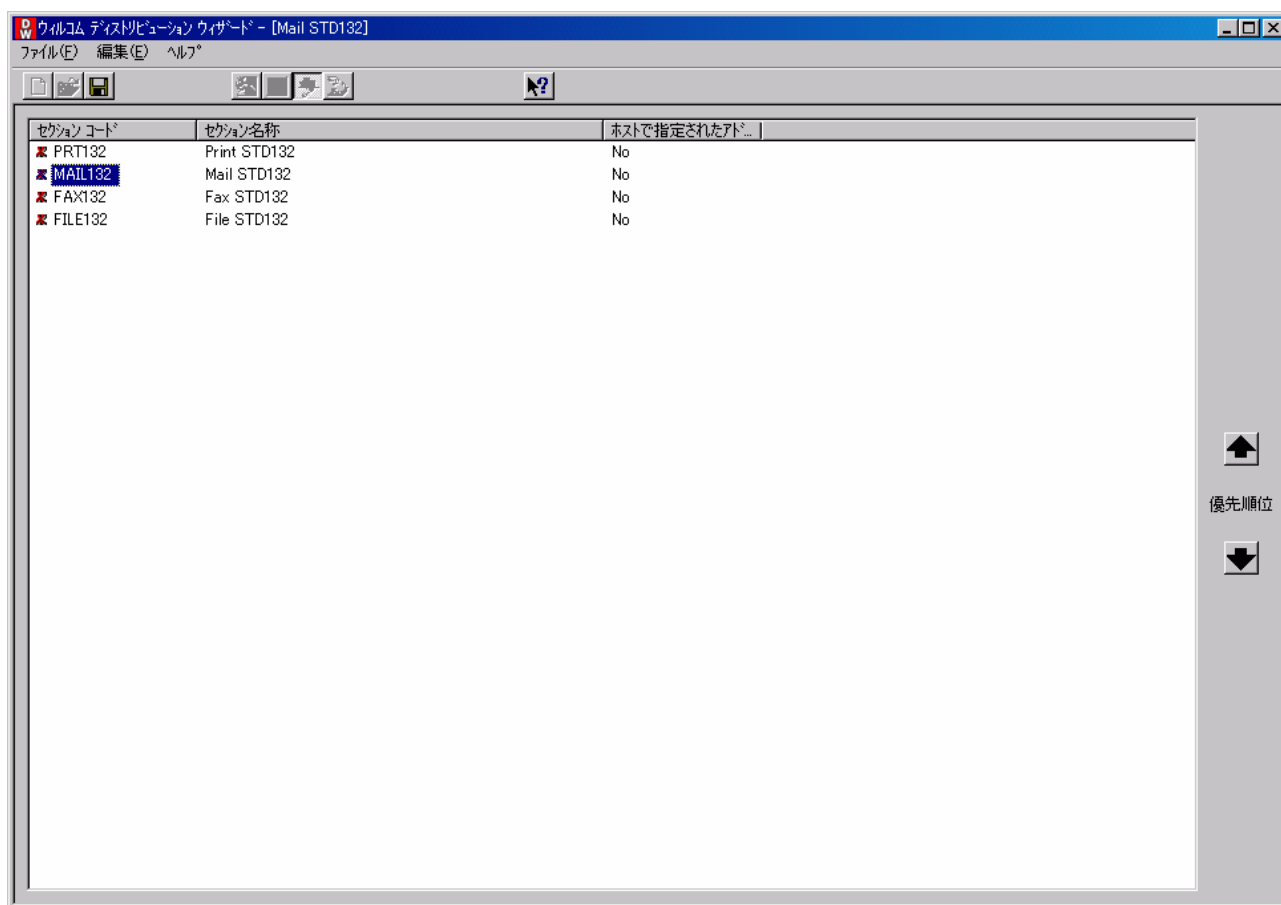


[フォーム名]欄の右側にある▼を押して、フォームの一覧から Std132 を選択します。

[フィールドマップ名]欄の右側にある▼を押して、フォームの一覧から Std132 を選択します。

[解像度]欄の右側にある▼を押して、「高」を選択します。

[表示]-[メイン画面へ戻る]を実行します。

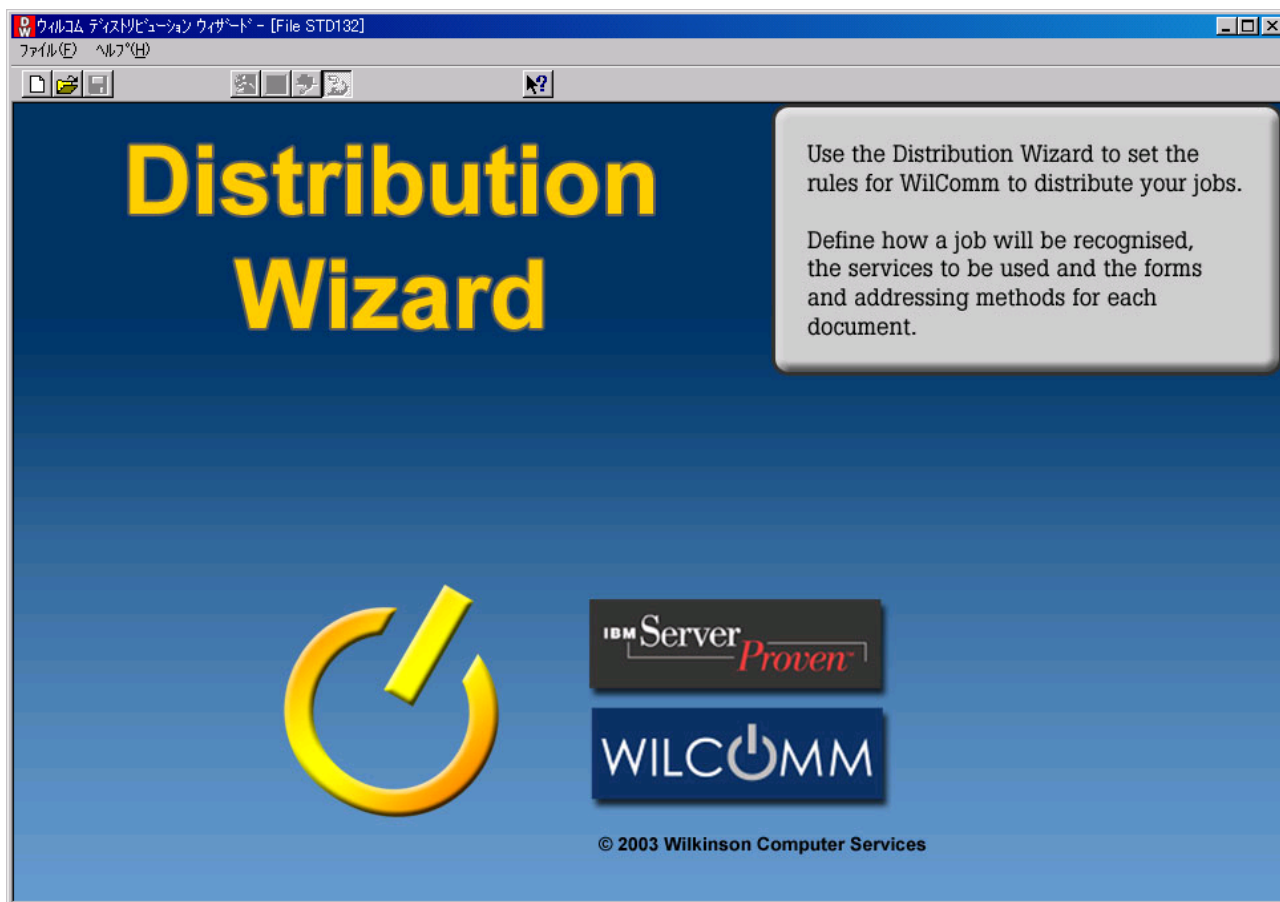


[ファイル]-[上書き保存]を実行してプログラムを終了します。

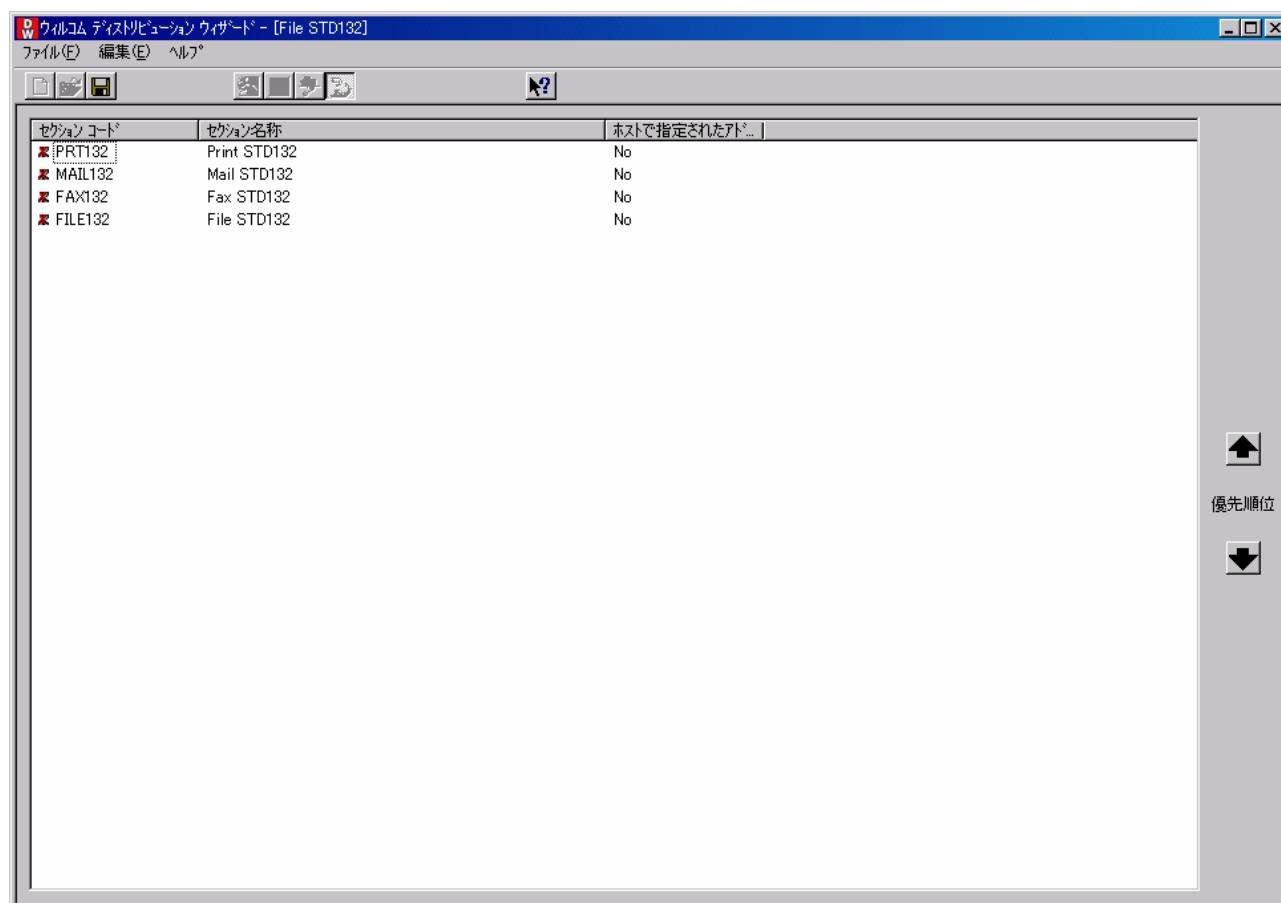
12. WilPrint のセットアップ

プリント機能を使用する場合、PCサーバーにプリンタードライバーのセットアップが必要になります。
使用するプリンターのドライバーをPCサーバーに導入して下さい。

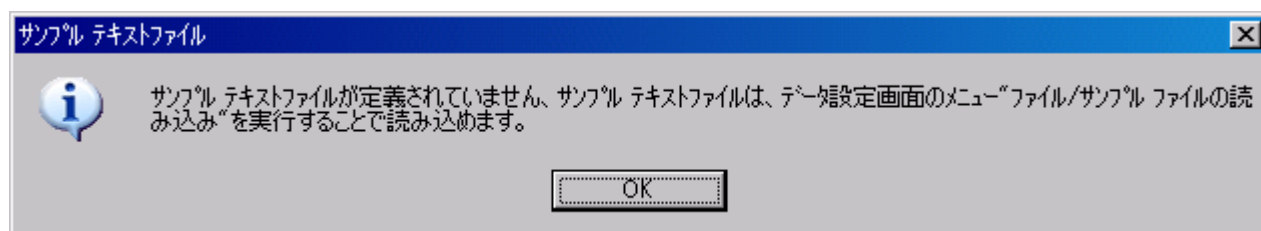
プリンタードライバーを導入したら、[スタート]-[プログラム]-[WilComm Universal]-[Distribution Wizard]を起動します。



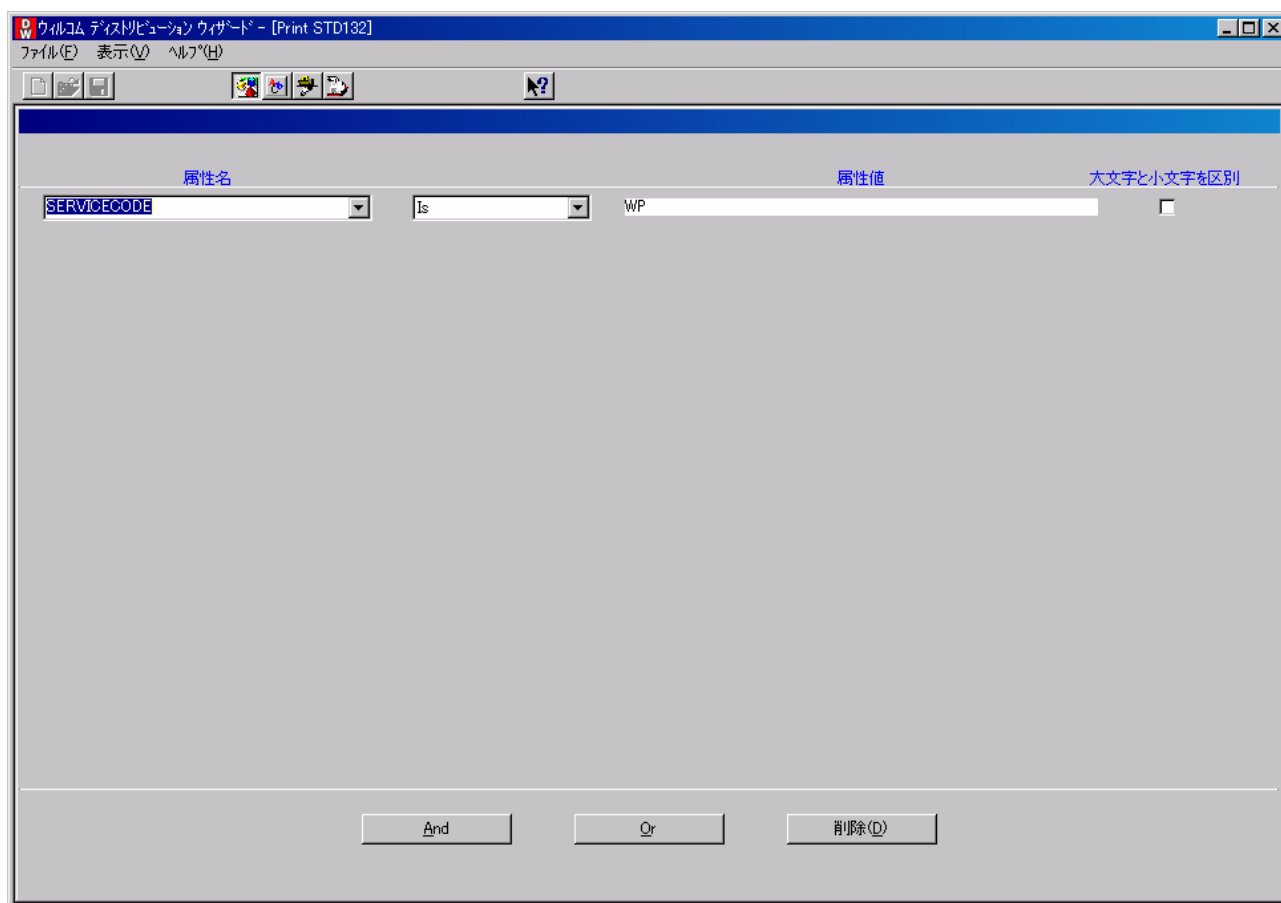
[ファイル]-[開く]を実行します。



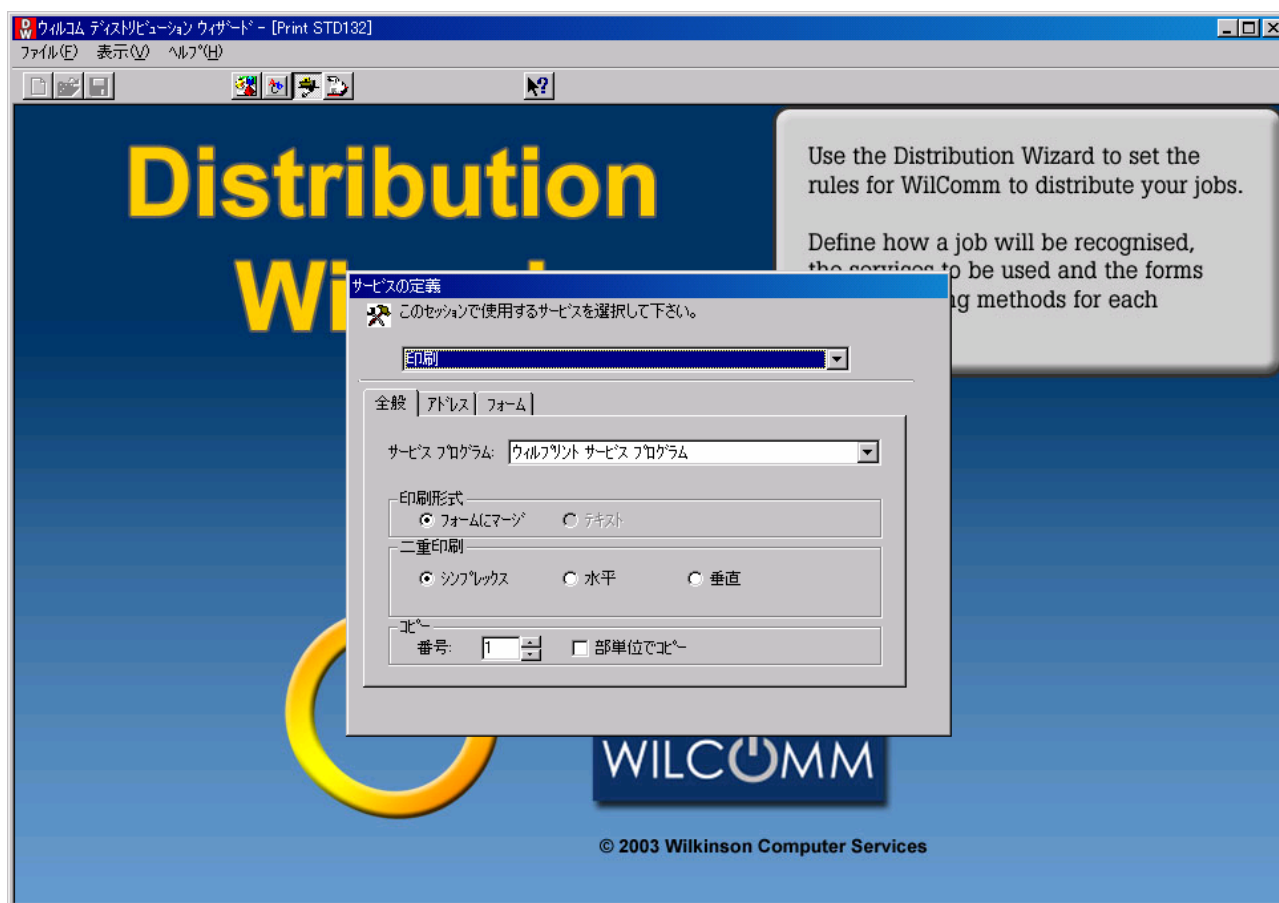
セクションコード PRINT132 をダブルクリックします。



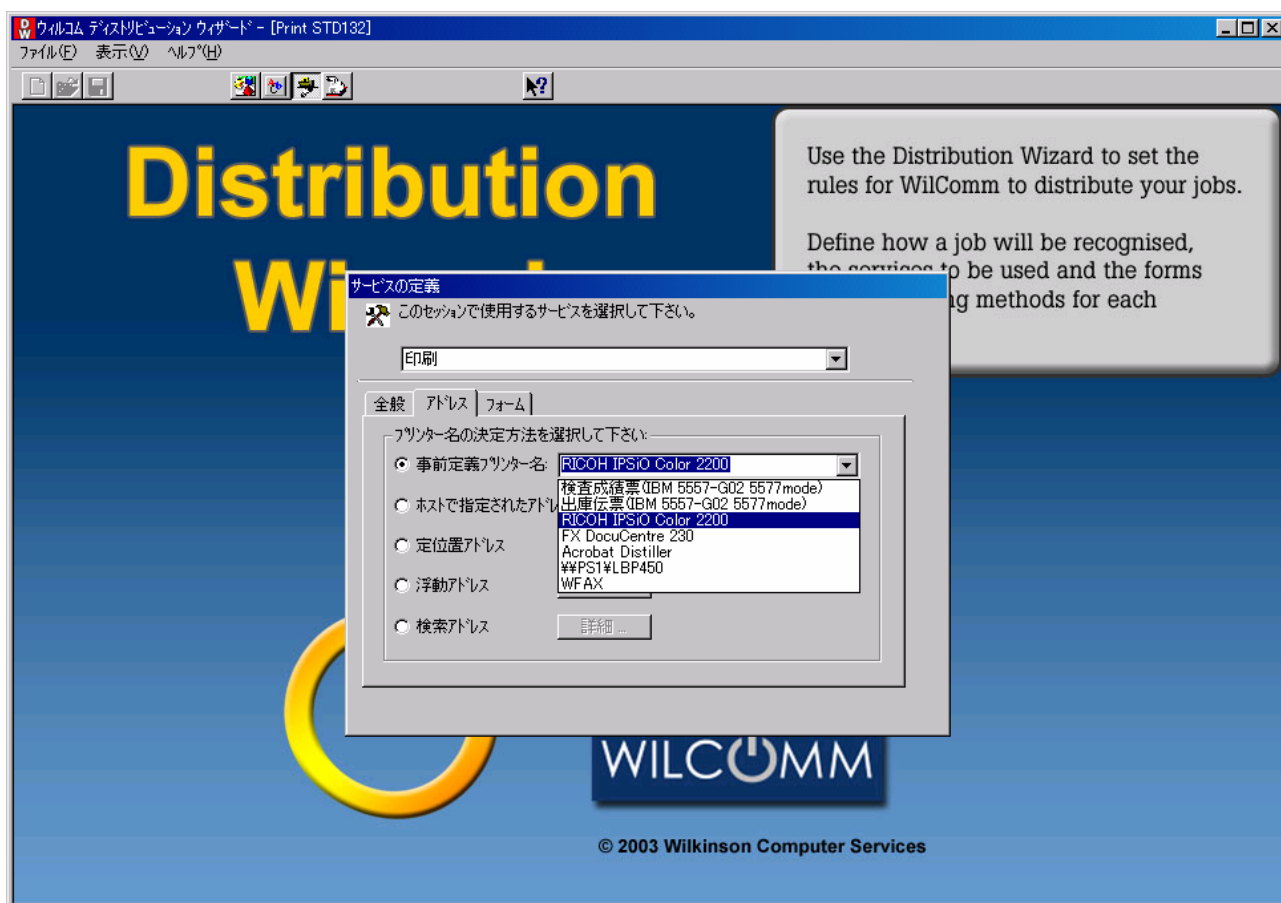
[OK]ボタンを押します。



[表示]-[サービス設定]を開きます。



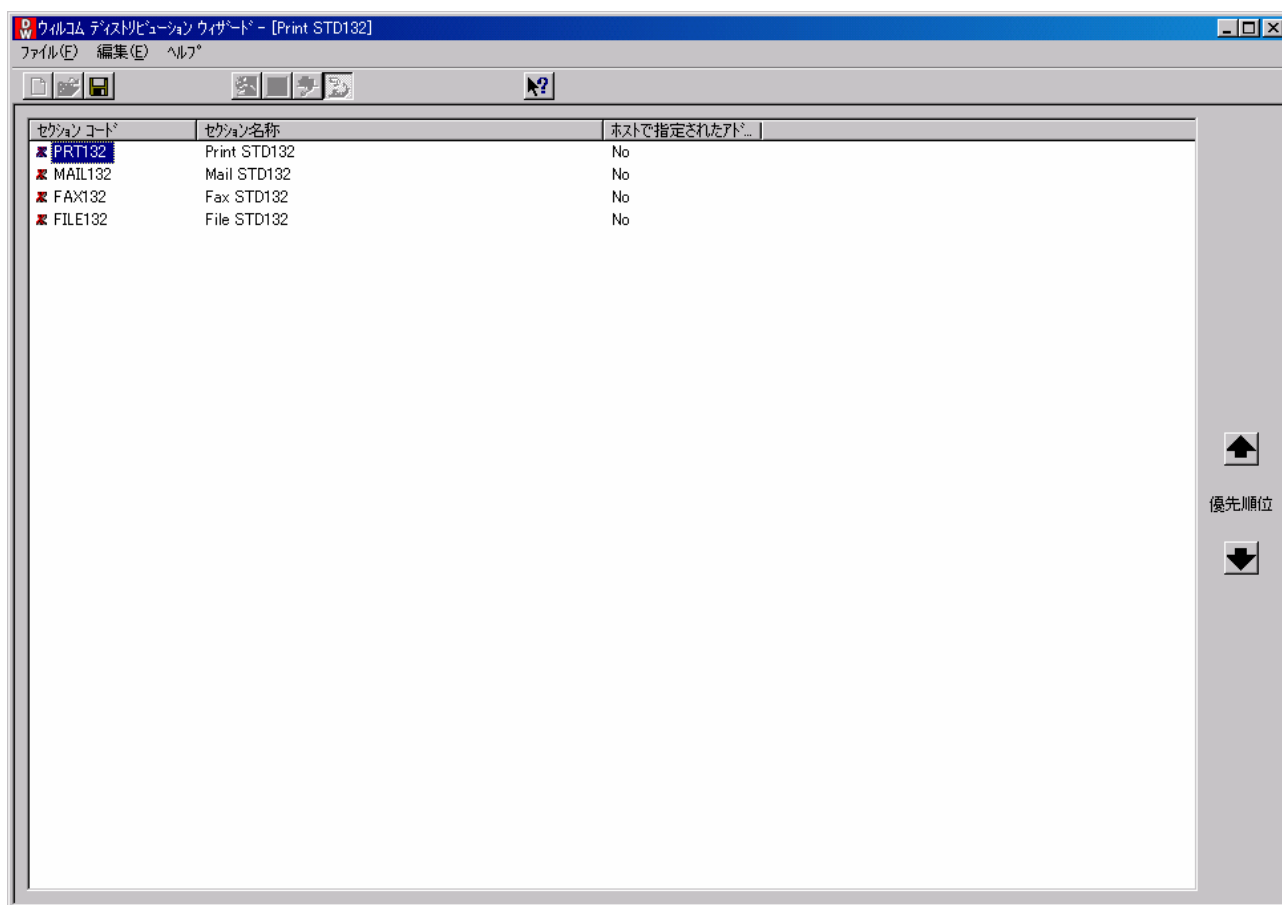
[アドレス]タブをクリックします。



[事前定義プリンター名]のラジオボタンに印を付け、プルダウンで表示されるプリンタードライバーから適切なプリンターを選択します。

iSeries のライブラリーWILCOMMCHGにある印刷待ち行列 PRINT に投入されたスプールファイルは、ここで指定されたプリンターに出力されます。

[表示]-[メイン画面へ戻る]を実行します。



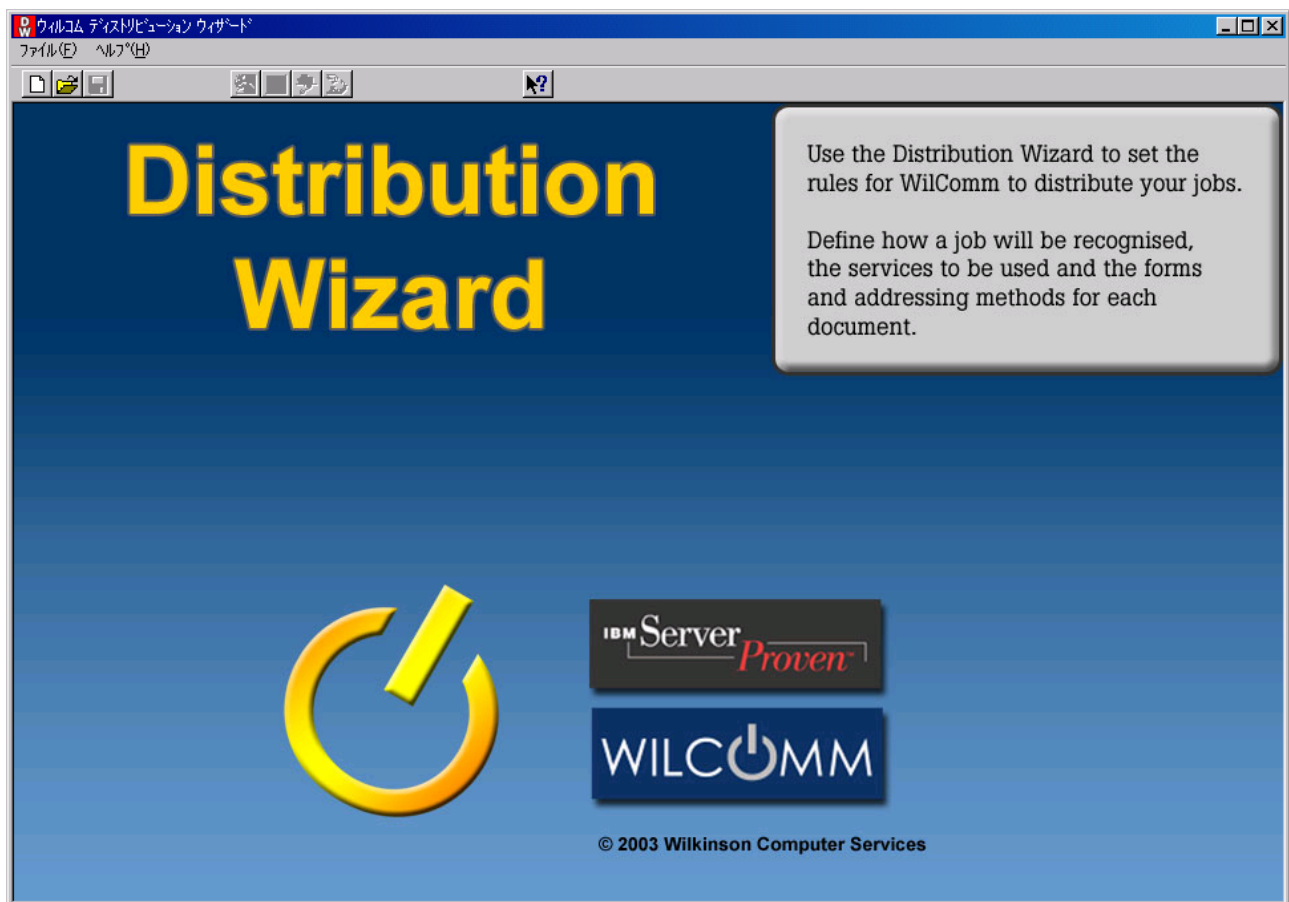
[ファイル]-[上書き保存]を実行してプログラムを終了します。

13. WilFile のセットアップ

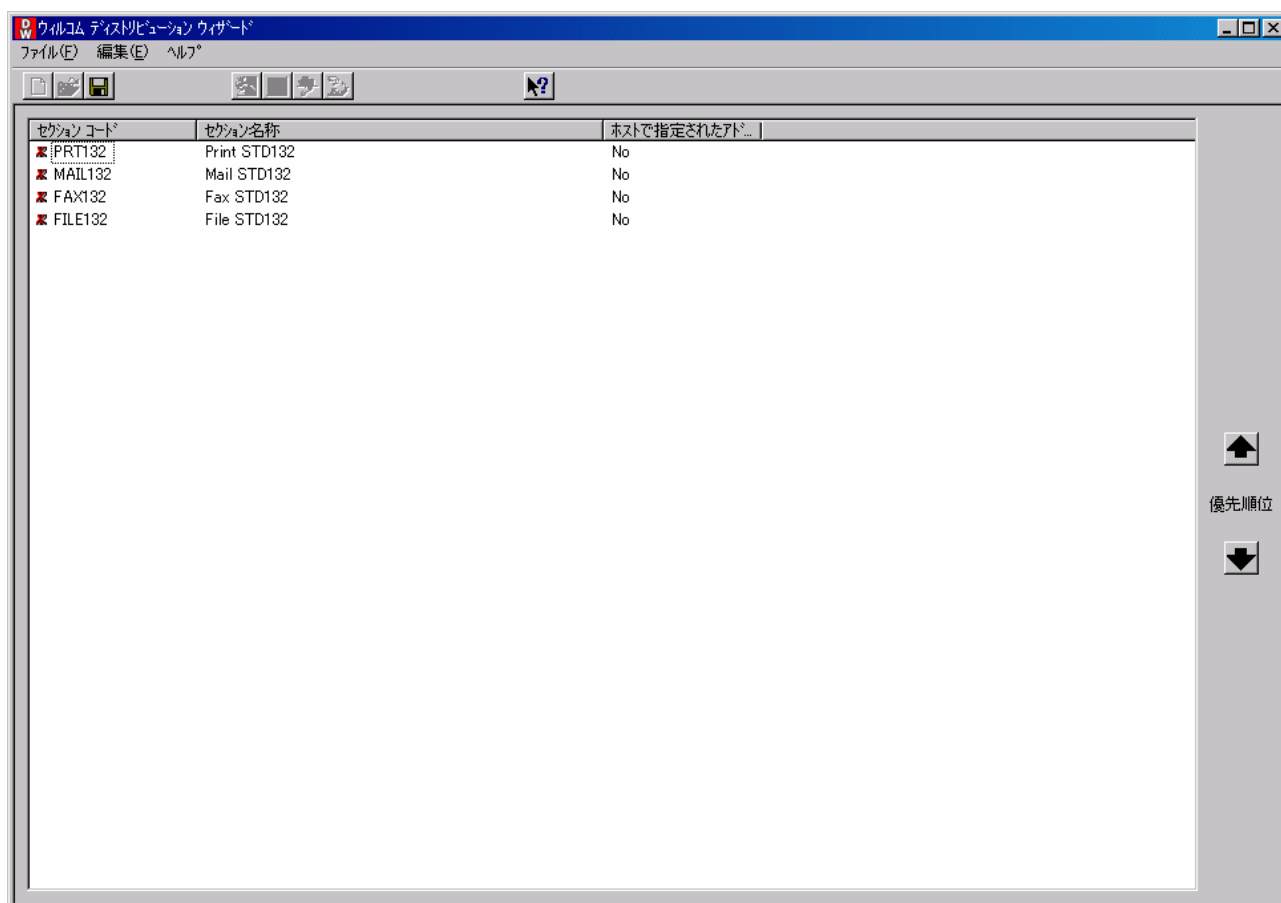
テキスト形式でファイル保管を行う場合、以下の作業は必要ありません

PDF ファイルあるいは DocuWorks ファイルの形式で保管したい場合は、以下の設定が必要となります。

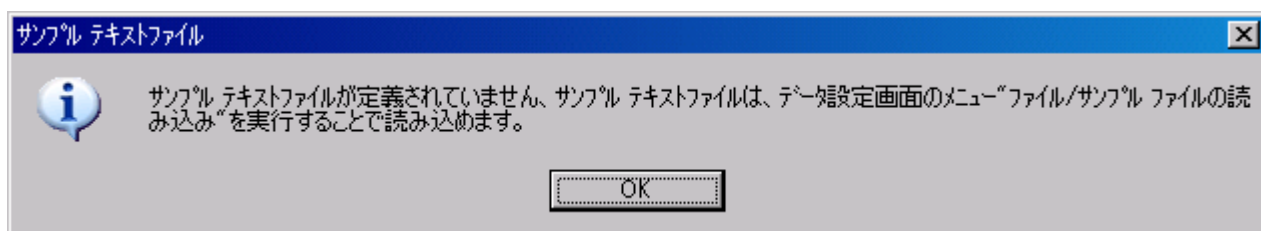
[スタート]-[プログラム]-[Wilkinson]-[WilComm Universal]-[Distribution Wizard]を起動します。



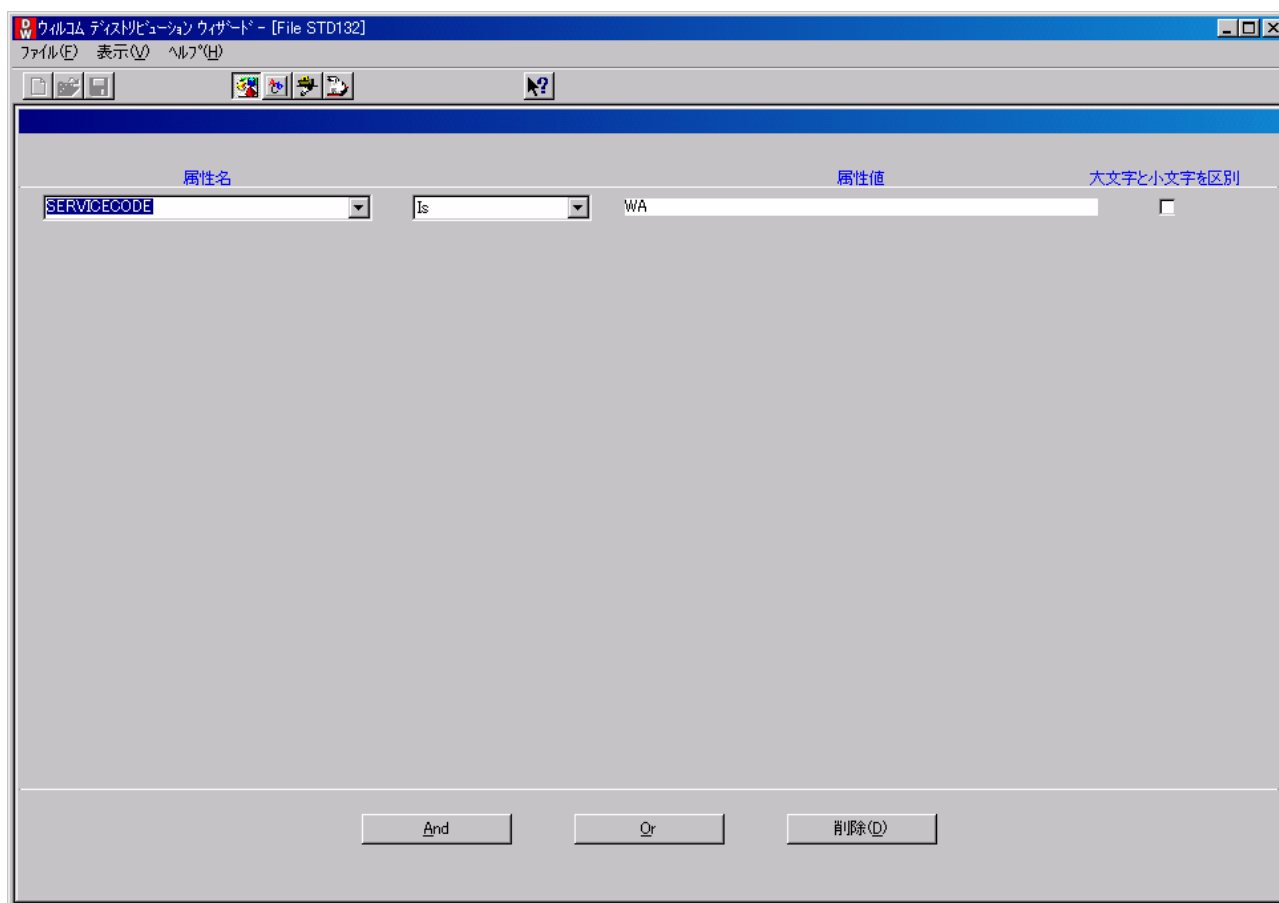
[ファイル]-[開く]を実行します。



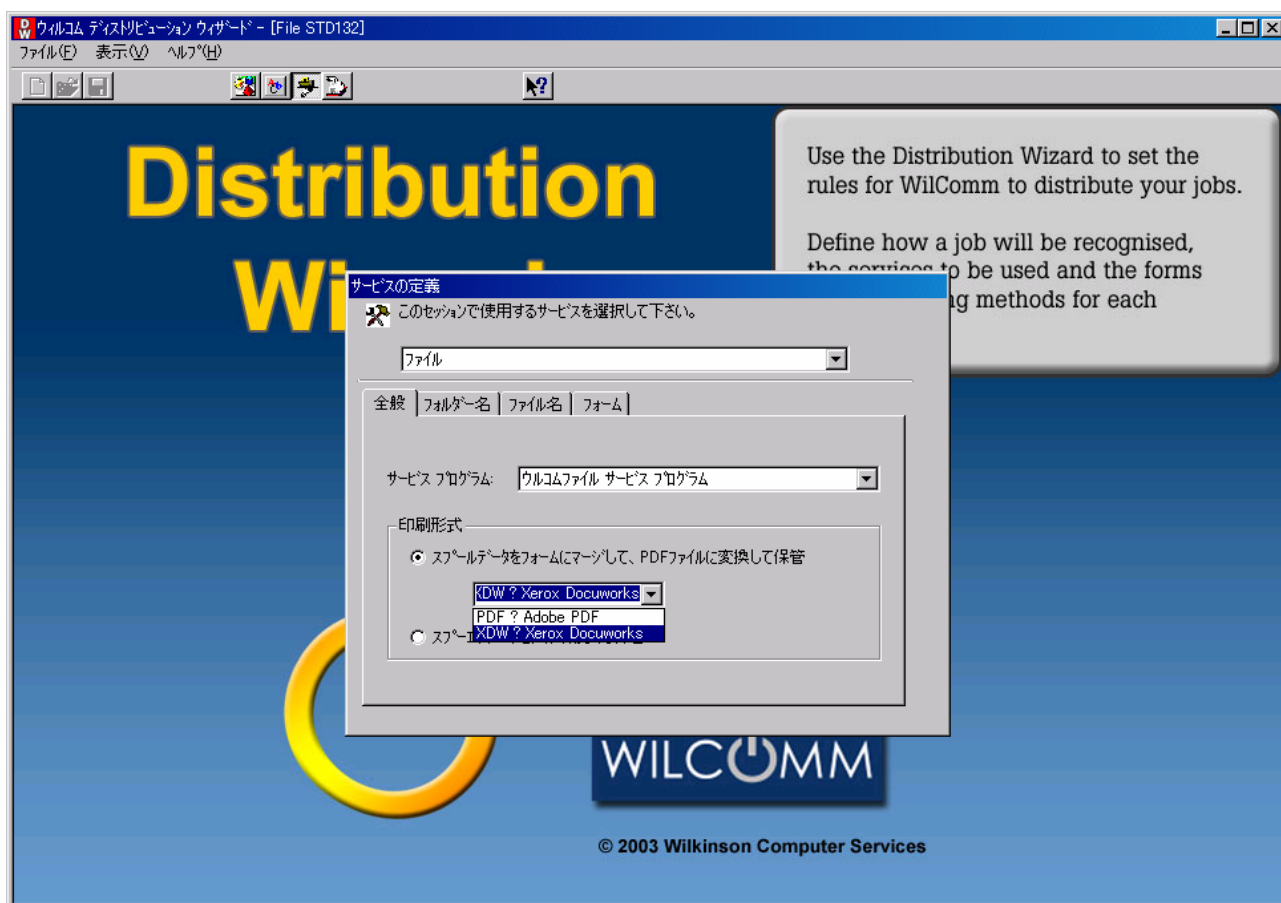
セクションコード FILE132 をダブルクリックします。



[OK]ボタンを押します。



[表示]-[サービス設定]を開きます。

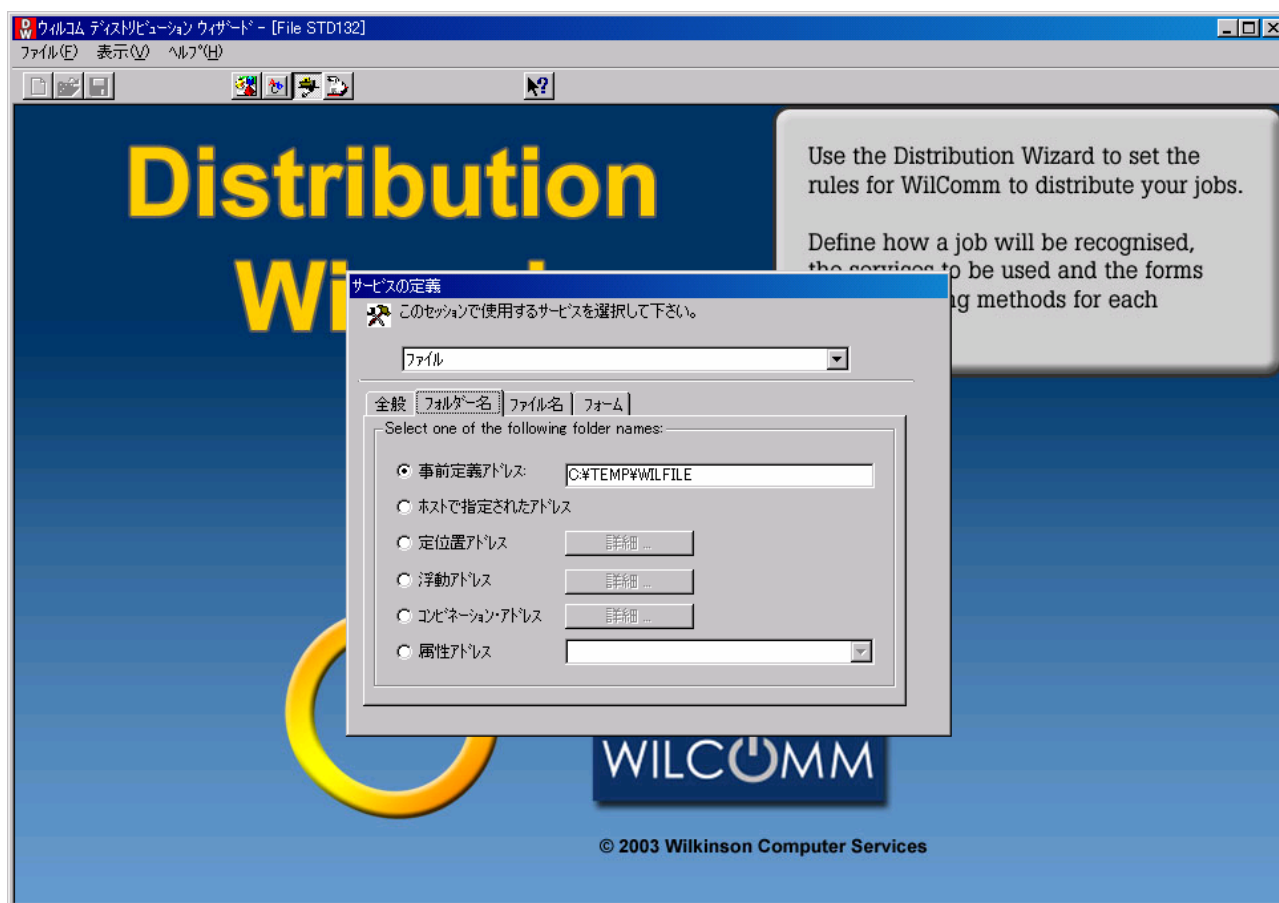


[スプールデータをフォームにマージして、PDF ファイルに変換して保管]のラジオボタンに印を付けます。

PDF 形式で保管したい場合、[PDF ? Adobe PDF]を選択します。

DocuWorks 形式で保管したい場合、[XDW ? Xerox Docuworks]を選択します。

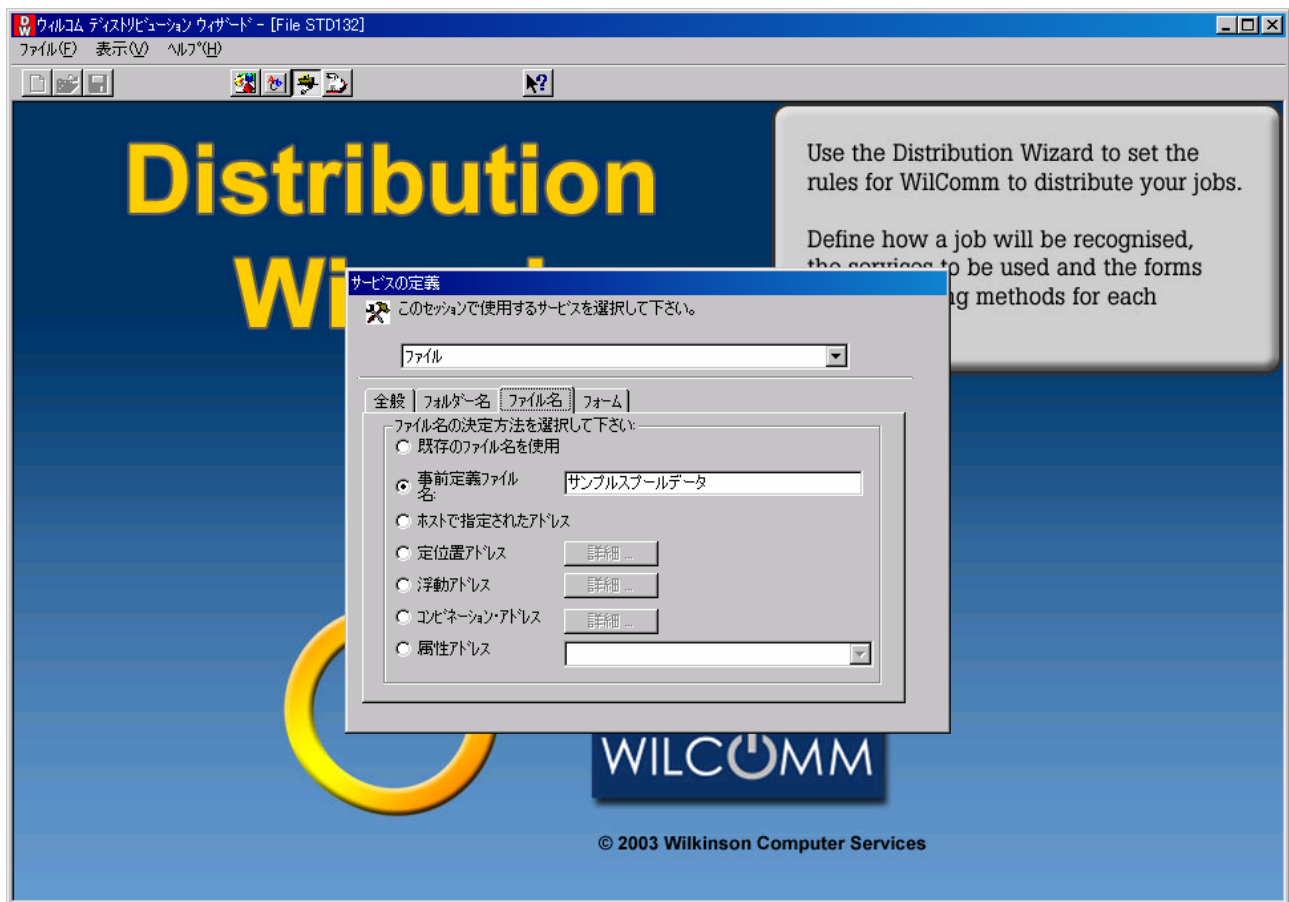
[フォルダー名]タブをクリックします。



[事前定義アドレス]に印を付け、ファイル保管先のフォルダーを指定します。
※ドライブ名からフルのパスで指定して下さい。

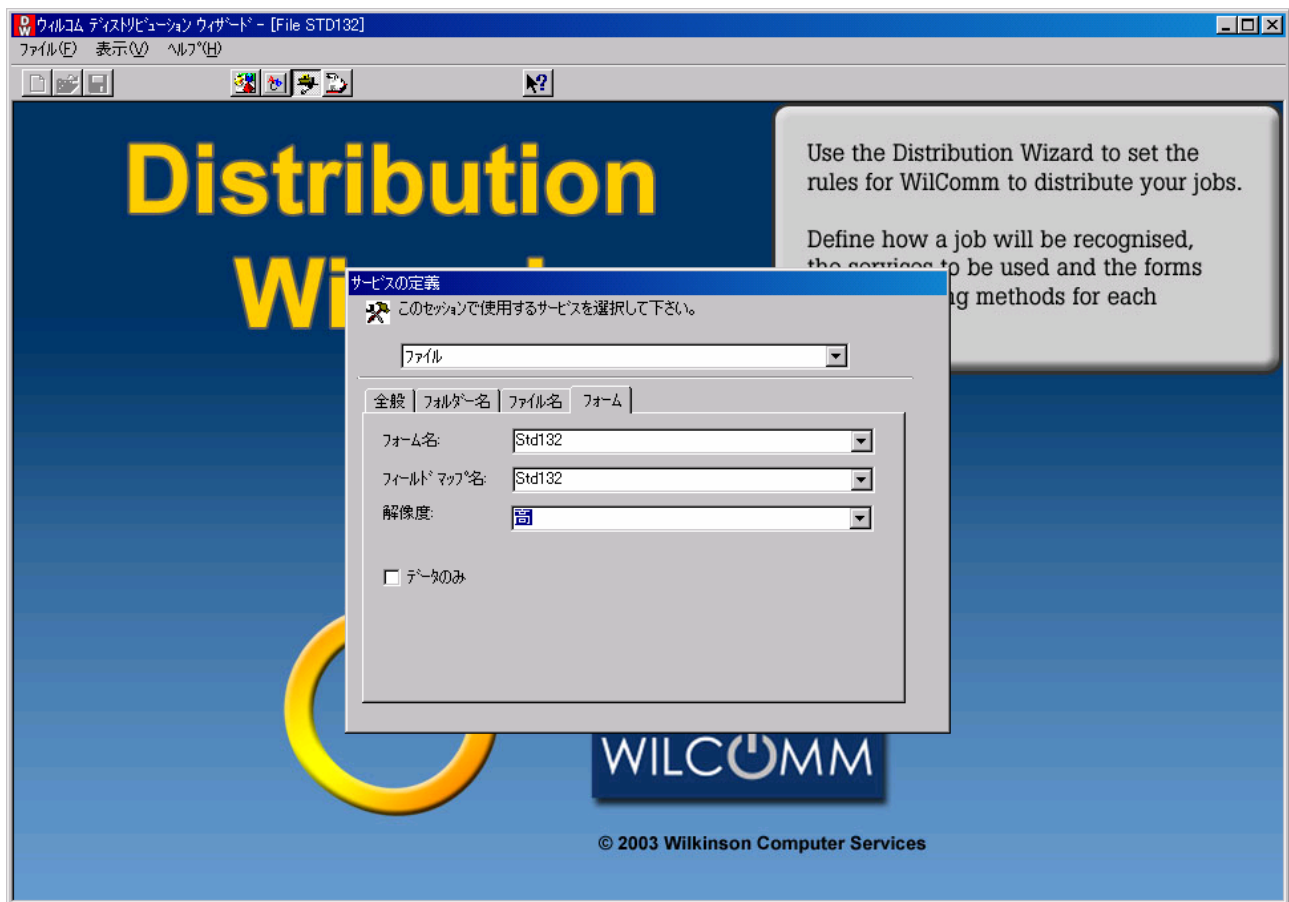
ネットワーク上の共有フォルダーも指定可能ですが、あらかじめネットワークドライブに割り当てアクセス可能な状態になっていることが前提となります。

[ファイル名]タブをクリックします。



[事前定義ファイル名]に印を付けて、保管されるファイルの名前を指定します。
他のオプションを使用することを可能ですが、[ホストで指定されたアドレス]については、現バージョンでは使用できません

[フォーム]タブをクリックします。

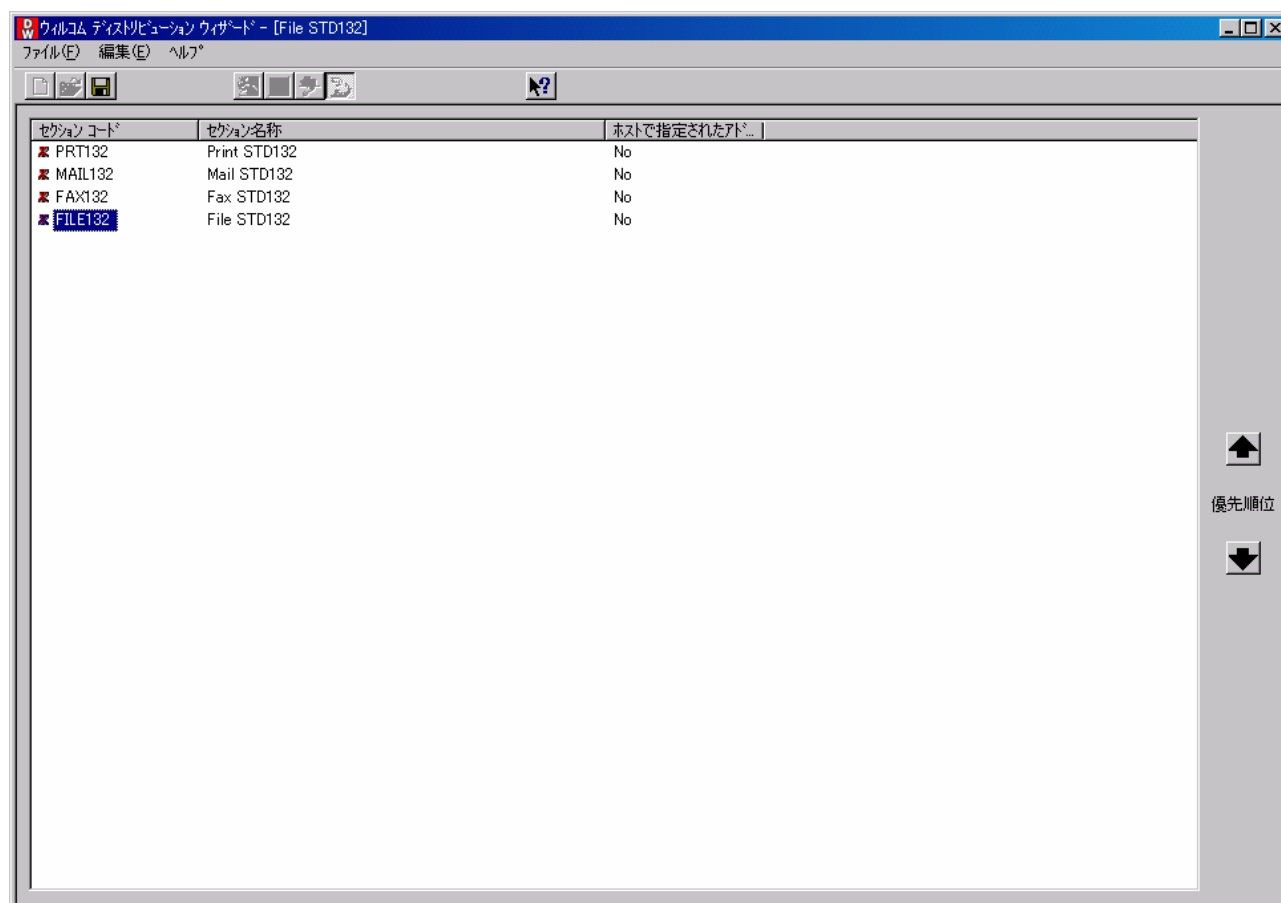


[フォーム名]欄の右側にある▼を押して、フォームの一覧から Std132 を選択します。

[フィールドマップ名]欄の右側にある▼を押して、フォームの一覧から Std132 を選択します。

[解像度]欄の右側にある▼を押して、「高」を選択します。

[表示]-[メイン画面へ戻る]を実行します。



[ファイル]-[上書き保存]を実行してプログラムを終了します。

14. Windows のチューニング

デフォルトの設定ではイベントログが一杯になってシステムが停止する可能性があります。

イベントビューアーでログの設定を変更します。

ログファイルのサイズを 1024 以上にして、[必要に応じてイベントを上書きする]のラジオボタンに印を付けて下さい。

ログはアプリケーション、セキュリティ、システムの 3 種類がありますので、それぞれについて行って下さい。

Windows の仮想メモリーを調整する事をお勧めします。

推奨値としては、初期サイズ:350MB 程度、最大サイズ:500MB 以上です。

※十分に空きディスク容量があることを確認してから行なって下さい。